



操作マニュアル



はじめに

このたびは「フリーウェイ販売管理」をご利用いただき、誠にありがとうございます。 本書は「フリーウェイ販売管理」の操作方法について説明しています。 本システムをご使用になる前、また必要に応じて本書を参照してください。

なお本書の内容は、本システムの操作に関するものが中心になっておりますのす、パソコン・Windows の操作の内容については、それぞれの専門の書籍等をご参照くださいますようお願いいたします。

弊社では「専門用語集」や「よくある質問」を Web で公開しています。 こちらも合わせてご覧ください。

• 専門用語集 : https://freeway-hanbai.com/terms.html

• よくある質問 : https://faq.freeway-japan.com/category/show/7

■ 本書の表記について

本書では説明する内容によって以下のアイコン、記号を使用しています。

アイコン、記号 説明	
注意	操作するときに気をつけることを記載しています。
補足 説明の補足事項を記載しています。	
→	参照先を記載しています。
[]	ボタン名称を表記するときに用います。
「 」 メニュー名、画面名称、画面内の項目名、参照先を表記するときに用	
キーボードのキーを表記するときに用います。	

■ 改訂履歴

版数	日付	内容
初 版	2011年 12月	
第 2 版	2013年 8月	
第 2.1 版	2013年 10月	「10.よくある質問」を追加。
第 2.2 版	2014年 1月	バージョンアップに伴い内容を追加修正。 主な追加内容「部門マスタ登録」「商品カテゴリーマスタ登録」
第 2.3 版	2014年 11月	バージョンアップに伴い内容を追加修正。 主な追加内容「基本情報登録」「マスタメンテナンスメニュー」 「売上伝票入力」「売上明細表」「売上日報」「売上月報」 「売上推移表」「商品マスタ照会」
第 2.4 版	2015年 3月	専門用語集・よくある質問のリンクを追加。 バージョンアップに伴い内容を追加修正。 主な追加内容 「売上伝票出力」「会計データ出力」
第 2.5 版	2017年 8月	ページ数の表記とその他説明文を一部修正。
第 2.6 版	2019年 10月	バージョンアップに伴い内容を追加、修正。 主な追加内容「マスタメンテナンスメニュー」
第 2.7 版	2020年5月	年度選択に表示される年度を7年分に変更 年次繰越の手順を変更
第 2.8 版	2021年2月	バージョンアップに伴い内容を追加、修正。 主な追加内容「得意先マスタ」「請求書作成」「入金入力」 「各種 売上・分析レポート」
第 2.9 版	2021年7月	バージョンアップに伴い内容を追加、修正。 主な追加内容「ログイン画面」「売上伝票入力」「入金入力」
第 3.0 版	2023年9月	バージョンアップに伴い内容を追加、修正。 主な追加内容「領収書を出力する」
第 3.1 版	2024年4月	バージョンアップに伴い内容を追加、修正。 主な追加内容「得意先マスタ」

■ 目次

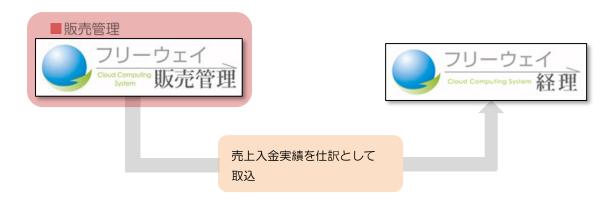
■ フリーワェイ販売管理と連動しているソフト	7
■ フリーウェイ販売管理をお使いになる前に	8
■ 基本操作	9
■ 販売管理の処理について	15
1. 準備をする(基本情報とマスタの登録)	17
1.1 基本情報とマスタ登録の流れ	18
- 1.2 会社の基本情報を登録する	
1.2.1 基本情報を登録・更新する	19
1.2.2 基本情報登録の入力項目について	20
1.3 自社部門マスタを登録する	22
1.3.1 部門を追加する	22
1.3.2 自社部門マスタの入力項目について	23
1.3.3 CSV ファイルで部門を追加する	24
1.3.3.1 取込用 CSV ファイルを作成する	24
1.3.3.2 CSV ファイルを取り込む	26
1.3.4 部門を更新・削除する	28
1.3.5 部門を CSV ファイルに出力する	29
1.3.6 各帳票での部門の指定と印刷について	31
1.3.6.1 売上伝票での指定	31
1.3.6.2 請求書での指定	32
1.4 自社担当者マスタを登録する	34
1.4.1 担当者を追加する	34
1.4.2 担当者を更新・削除する	35
1.5 入金区分マスタを登録する	36
1.5.1 入金区分を追加する	
1.5.2 入金区分を更新・削除する	
1.6 摘要マスタを登録する	
1.6.1 摘要を追加する	
1.6.2 摘要を更新・削除する	
1.7 得意先マスタを登録する	
1.7.1 得意先を追加する	
1.7.2 得意先マスタの入力項目について	
1.7.3 得意先マスタの税処理について 1.7.4 CSV ファイルで得意先を追加する	
1.7.4 CSV ファイル C	
1.7.4.2 CSV ファイルを取り込む	
1.7.5 得意先を更新・削除する 1.7.6 得意先を CSV ファイルに出力する	
1.7.6 特息元を CSV ファイルに正刀する	
1.8.1 商品カテゴリーを追加する	
1.8.2 商品カテゴリーマスタの入力項目について	
1.8.3 CSV ファイルで商品カテゴリーを追加する	
1.8.3.1 取込用 CSV ファイルを作成する	
1.8.3.2 CSV ファイルを取り込む	
1.8.4 商品カテゴリーを更新・削除する	

	1	.8.5 商品カテゴリーを CSV ファイルに出力する	58
	1.9	商品マスタを登録する	60
		.9.1 商品を追加する	
		.9.2 商品マスタの入力項目について	
	1	.9.3 CSV ファイルで商品を追加する	
		1.9.3.1 取込用 CSV ファイルを作成する	62
		1.9.3.2 CSV ファイルを取り込む	64
		.9.4 商品を更新・削除する	
		.9.5 商品を CSV ファイルに出力する	
2.	売.	上を入力する	69
		売上処理について	
		売上伝票を入力する	
		2.2.1 売上伝票の入力項目について	
	2	2.2.2 売上伝票を訂正・複写・削除する	
		2.2.2.1 売上伝票を訂正する	
		2.2.2.2 売上伝票を複写する	85
		2.2.2.3 売上伝票を削除する	86
	2	2.2.3 赤伝処理をする	87
	2.3	売上伝票を出力する	88
3.	請	求書を締める	91
	3.1	請求処理について	92
	3.2	請求書を発行する(締め請求)	93
		3.2.1 請求書を再出力する	
		請求締めを解除する	
		金を入力する	
	4.1	入金処理について	100
		入金を入力する	
		1.2.1 入金を訂正・削除する	
		入金実績一覧表を出力する	
		領収書を出力する	
		意先との取引状況を確認する	
		得意先との取引状況の確認について	
		得意先元帳を出力する	
		売掛残高一覧表を出力する	
		上の状況を確認する	
		売上状況の確認について	
		売上明細表を出力する	
		売上日報を出力する	
		売上月報を出力する	
		i上の分析をする	
		分析レポートについて	
		売上推移表を出力する	
		売上順位表を出力する	
		売上伸び率順位表を出力する	
	15	売上分析表を出力する	128

8.	各	種データを照会する	129
	8.1	各種データの照会について	130
	8.2	得意先マスタを照会する	131
	8.3	商品マスタを照会する	132
		得意先所在地を照会する	
9.	そ	と の他	135
	9.1	会計データと連携する	136
	9.2	年次を繰り越す	138
		ログインユーザを管理する	
		9.3.1 ユーザの種類	
		9.3.2 ログインユーザの情報を変更する	
	9	9.3.3 ログインユーザを管理する	
		9.3.3.1 ユーザを追加する	.141
		9.3.3.2 ユーザを更新・削除する	142
	9	9.3.4 ログインユーザの権限を管理する	143

■ フリーウェイ販売管理と連動しているソフト

フリーウェイ販売管理は、会計ソフト「フリーウェイ経理」とデータ連動します。 ソフト間でデータ連動することで、手入力する手間が省け、業務を効率化できます。



フリーウェイ販売管理をお使いになる前に

フリーウェイ販売管理の動作環境や使用できる機能について説明します。

動作環境

以下の条件を備えた PC で動作します。

項目	内容	
対応環境	インターネットが動作する環境	
CPU	PentiumⅢ800MHz 以上(推奨:1GHz 以上)または同等の互換 CPU を搭載した PC	
メモリ	1GB 以上(2GB 以上推奨)	
ハードディスク	100MB 以上(データは別途領域が必要)	
ハートティスク	データはサーバーに保存されるため、データ領域は必要ありません。	
ディスプレイ 1024×768 ドット以上(1920×1080 ドット推奨)		
	Google Chrome、Microsoft Edge、Firefox、Safari	
Web ブラウザ	※推奨 Web ブラウザ以外では一部の機能が動作しない、もしくは画面	
	が一部正常に表示されない場合があります。	
Adobe Reader	ver.9.1.0 以上推奨	
プリンタ	レーザプリンタ(インクジェットプリンタは非推奨)	
対応フラートフェン	Android、iPhone、iPad	
対応スマートフォン 	※スマートフォンで利用できるのは一部メニューのみです。	

[※]日本語 OS でご利用ください。

無料版・有料版で使用できる機能

フリーウェイ販売管理の無料版と有料版の違いは、以下のとおりです。

機能	無料版	有料版
売上伝票行数 ※1	1~1,000 ※2	無制限
ID数	3	4
追加 ID ※3	×	0
サポート	×	0

^{※1} 売上伝票行数は利用開始からの累計です。

(例)1枚の伝票に2つの商品を記載した場合、売上伝票行数は「2」です。

※3 ID の追加ごとに費用がかかります。詳細はサポートセンターまでお問合せください。

有料版への切り替え後も、無料版で作成したすべてのデータを継続してご利用いただけます。 有料版の詳細はウェブサイトの料金プランを参照してください。

注意 無料版での売上伝票行数が 1,000 を超えた場合

無料版で登録した売上伝票行数が 1,000 を超えてアラートが出た場合は、有料版へアップグレードするまでシステムを利用できなくなります。あらかじめご了承ください。

[%]Microsoft Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。

[※]各会社、製品、ロゴマークは関係各社の商標及び登録商標です。

[※]MAC-PC 上で Windows を起動させた場合の動作保証はできかねます。

^{※2} 無料版をご利用の場合、800 伝票を超えた段階で、上限数(1000 伝票)に近づいていることを画面上に表示します。

■ 基本操作

共通で使用する機能について説明します。

1. ログイン

フリーウェイ販売管理を起動します。

- 1. 「https://www.freeway-hanbai.net/」にアクセスし、ログイン画面を表示します。
- 2. 契約者 ID、ログイン ID、パスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。



補足 契約者 ID・ログイン ID・パスワードについて

複数人でフリーウェイ販売管理を利用するためには、ユーザの追加登録が必要です。 (本書では、ユーザ登録を行う人を「管理者」、それ以外の人を「利用者」と表記します) 管理者がユーザ登録をすると、契約者 ID・ログイン ID・パスワードが利用者本人に メールで通知されます。

ユーザ登録手順は「9.3 ログインユーザを管理する」を参照してください。

|注意) パスワードを忘れてしまった!

以下の手順でパスワードの再発行を行います。

- ① ログイン画面の「パスワードを忘れた場合」をクリックします。
- ② 「パスワード再発行」画面で、メールアドレスと画像認証コードを入力し、 [パスワードの再発行] ボタンをクリックします。

フリーウェイ販売管理に登録されて

いるメールアドレスを入力します。

※登録されていないメールアドレス を入力すると、お知らせメールが

届きません。



③ ②で入力したアドレスに、パスワード再発行のお知らせメールが届きます。 ※利用者が契約者 ID・ログイン ID を忘れた場合は社内の「管理者」にお問合せ ください。 3. 「年度選択」画面が表示されます。表示する年度の[選択]ボタンをクリックします。



補足 初回ログイン時

初回ログイン時は自動的に「基本情報の登録をお願いします」画面(基本情報登録画面)が表示されます。入力方法は「1.2 会社の基本情報を登録する」を参照してください。「基本情報の登録をお願いします」画面で、本年度決算年月と自社締日を入力せず終了した場合も、次回起動時に表示されます。

4. 「トップメニュー」画面が表示されます。



2. ログアウト

フリーウェイ販売管理を終了します。

- 1. 「トップメニュー」または各メニュー画面を表示します。
- 2. [ログアウト] ボタンをクリックします。



3. ログイン画面に戻ります。 Web ブラウザの [×] ボタンをクリックし、ページを閉じます。

3. 共通操作

「売上明細表」画面を例に説明します。



■ 入力に関する操作

キーボード操作 日付の入力

: Tab キーを押すと次の入力項目にカーソルが移動します。

: 日付は西暦 yyyy/mm/dd で入力します。(例:2013/04/01)

または、🛗 ボタンをクリックし、カレンダーから選択します。



■ 共通のボタン操作

主なボタンは以下のとおりです。

ボタン	内容		
CSV 出力	帳票を出力する画面で表示されます。(入力画面では表示されません)		
DDE III-	CSV の出力手順は「■帳票を CSV、PDF に出力する		
PDF 出力	」を参照してください。		
	画面を終了します。 確認メッセージが表示された場合は、[OK] をクリックします。		
 終了	確認		
上学	終了しても宜しいですか? OKI Cancel		

■ 帳票をCSV、PDFに出力する

[CSV 出力] ボタンや [PDF 出力] ボタンが表示される画面では、帳票を CSV や PDF に出力できます。

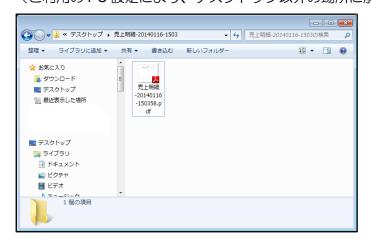
出力した CSV や PDF は、印刷したり、メールの添付ファイルとして利用したりできます。 (ご利用のブラウザにより、画面の表示が異なる場合があります)

ここでは PDF を出力する手順を例に説明しますが、CSV を出力する場合も手順は同様です。

- [PDF 出力] ボタンをクリックします。
 ※操作中の画面によっては、確認メッセージが表示される場合があります。
- 2. [ファイルを開く] または [保存] ボタンをクリックします。 ここでは例として、[ファイルを開く] ボタンをクリックします。

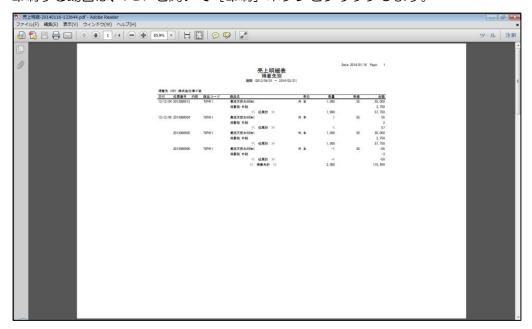


デスクトップに PDF ファイルが解凍されます。
 (ご利用の PC 設定により、デスクトップ以外の場所に解凍される場合があります)



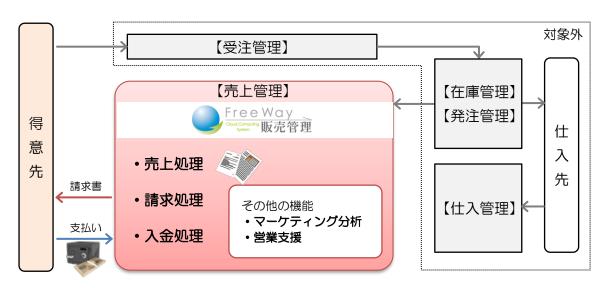
補足 作成されるフォルダーの名称について

フォルダー名は「出力帳票名―ファイルを出力した日―ファイルを出力した時刻」です。 (例)「売上明細-20140116-1503」→2014/01/16 15:03 に出力した売上明細 4. 印刷する場合は、PDF を開いて[印刷] ボタンをクリックします。

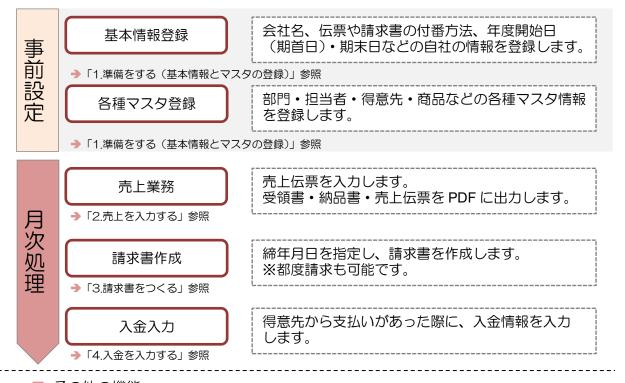


■ 販売管理の処理について

フリーウェイ販売管理では、売上・請求・入金処理などの「売上管理」に関わる部分を取り扱います。



■ 処理の流れ



■ その他の機能



トップメニューの構成



■ 各機能

機能	内容	
(a)階層リスト	現在表示中の画面を階層で表します。	
(b)TOP	「トップメニュー」に戻ります。 ※トップメニューの表示時は、ボタンが押せません。	
(c)事業年度/ユーザー	事業年度・・・現在表示中の事業年度が表示されます。・ユーザー・・・フリーウェイ販売管理にログインしている ユーザー名が表示されます。	
(d)年度選択	年度選択画面を表示します。年度を替えたいときにクリックします。	
(e)よくある質問	よくある質問を Q&A 形式で確認できます。	
(f)マニュアル	本書を PDF ファイルで閲覧できます	
(g)リモートサポート	有料版でのみ表示されます。お客様のパソコンの画面を弊社オペレーターと共有できます。※ご利用の前にサポートセンターへお問い合わせください。	

■ メニューボタン

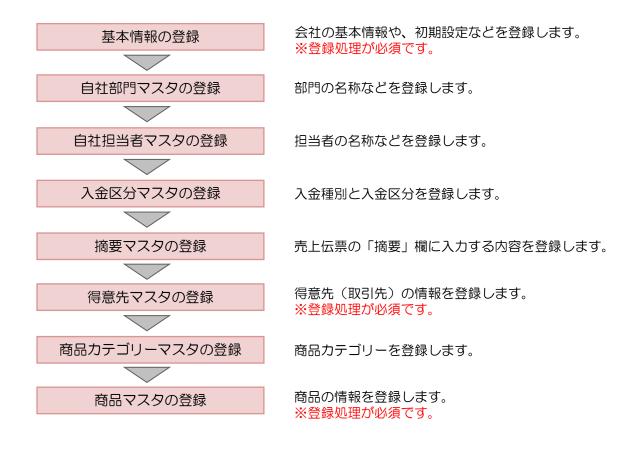
項目	内容
売上業務	売上伝票の入力・出力(売上伝票・受領書・納品書)をします。
請求業務	請求書の入力・出力をします。
入金業務	顧客からの入金情報を入力し、入金実績一覧表を出力します。
照会業務	得意先マスタ・商品マスタを照会できます。 GPS 搭載端末では、得意先所在地の確認もできます。
得意先元帳	得意先元帳・売掛残高一覧表を出力します。
売上レポート	売上明細表・売上日報・売上月報を出力します。
分析レポート	売上推移表や売上分析表などの分析結果を出力します。
マスタメンテナンス	会社情報や、得意先などの各種マスタ情報の管理をします。
ログインユーザ管理	フリーウェイ販売管理を利用するユーザの管理をします。
他システム連携	蓄積された販売管理データを会計データ用に CSV 出力します。
年次繰越	フリーウェイ販売管理を翌期も利用するために、年次繰越をします。

準備をする(基本情報と マスタの登録)

- 1.1 基本情報とマスタ登録の流れ
- 1.2 会社の基本情報を登録する
- 1.3 自社部門マスタを登録する
- 1.4 自社担当者マスタを登録する
- 1.5 入金区分マスタを登録する
- 1.6 摘要マスタを登録する
- 1.7 得意先マスタを登録する
- 1.8 商品カテゴリーマスタを登録する
- 1.9 商品マスタを登録する

1.1 基本情報とマスタ登録の流れ

「フリーウェイ販売管理」をお使いいただくために、会社の基本情報や、各種マスタを登録 します。登録の流れは以下のとおりです。



■ マスタメンテナンスメニュー 「トップメニュー」から「マスタメンテナンス」をクリックして起動します。



会社の基本情報を登録する 1.2

会社の基本情報や、システムの初期設定などを登録します。

補足 初回ログイン時

初回ログイン時は自動的に「基本情報の登録をお願いします」画面(基本情報登録画面) が表示されます。「基本情報の登録をお願いします」画面で、「本年度決算年月」と「自社 締日」を入力せず終了した場合も、次回起動時に表示されます。

なお、「本年度決算年月」と「自社締日」は一度登録すると編集できません。ご注意くだ さい。

基本情報を登録・更新する 1.2.1

- 1. 「トップメニュー」>「マスタメンテナンス」>「基本情報登録」をクリックします。
- 2. 「基本情報登録」画面が表示されます。各項目を入力し、「更新」ボタンをクリック します。

FreeWay loxAccountry for load 販売管理

入力項目について→ 「1.2.2 基本情報登録の入力項目について」参照



画面上部に、「1 更新しました」と表示され、「マスタメンテナンス」に戻ります。



1.2.2 基本情報登録の入力項目について

基本情報登録の入力項目は以下のとおりです。

■ 会社情報



項目	文字(桁)数	内容
会社名※	40 文字以内	正式名称を入力します。
会社名力ナ	40 文字以内	「会社名」を入力すると自動で表示されます。手入力 もできます。
郵便番号※	7 桁	郵便番号を入力します。※ハイフンは入力不要です。
会社名住所 1 ※	40 文字以内	都道府県名を入力します。 ※郵便番号を入力すると自動で表示されます。
会社名住所2※	40 文字以内	市区町村名、町域名、番地を入力します。 ※郵便番号を入力すると市区町村名が自動で表示されます。
会社名住所3	40 文字以内	建物名を入力します。
TEL*	20 桁以内	電話番号を入力します。
FAX	20 桁以内	FAX 番号を入力します。
メールアドレス	100 文字以内	申込時のメールアドレスが表示されます。変更する場合は手入力します。
ホームページ	100 文字以内	ホームページの URL を入力します。
適格請求書発行 事業者登録番号	13 桁	適格請求書発行事業者登録番号を入力します。 登録した事業者登録番号が、請求書、売上伝票、納品 書、受領書に印字されます。

※は各帳票に印字される項目のため、必ず登録してください。

■ 初期設定



項目	内容
伝票付番方法	伝票番号の付番を選択します。 ・自動付番(年度) 自動で「年度」+「昇順番号」を付番 ・自動付番(月度) 自動で「年月度」+「昇順番号」を付番 ・手入力 値を手入力
請求書付番方法	請求書番号の付番を選択します。
単価端数処理	商品マスタに税込額の単価のみ登録している場合、税抜単価を求める際 (または税抜単価から税込単価を求める)の端数処理を指定できます。 切捨て・切上げ・四捨五入から選択します。
数量小数桁数	0 桁・1 桁・2 桁・3 桁から選択します。 ※運用途中にて小数桁数を縮小した場合、失った桁は四捨五入されます。
金額端数処理	切捨て・切上げ・四捨五入から選択します。伝票の「金額」「粗利益」の 端数処理を指定できます。切捨て・切上げ・四捨五入から選択します。
原単価小数桁数	0 桁・1 桁・2 桁から選択します。 ※運用途中にて小数桁数を縮小した場合、失った桁は四捨五入されます。
9 桁・1 桁・2 桁から選択します。 単価小数桁数 ※運用途中にて小数桁数を縮小した場合、失った桁は四捨五2す。	
本年度の決算月をカレンダーから選択します。 本年度次算月 手入力する場合は yyyy/mm で入力します。初回のみ登録できる	
自社締日 締日を選択します。初回のみ登録できます。	
年度範囲 年度範囲が表示されます。	
会社名印刷区分 伝票印刷時会社名を印刷するかどうかを指定します。	
部門マスタ住所使用区分 伝票印刷時の会社住所を、自社部門マスタの住所で印刷で チェックをつけます。	
会社住所等印刷区分	伝票印刷時の会社または部門住所があらかじめ印刷済みの用紙を 使う場合は、チェックをはずします。(印刷されなくなります)
印鑑印刷	「請求書印鑑アップロード」で設定した印鑑を、請求書に印刷するかど うかを指定します。印刷しない・印刷する から選択します。
請求書印鑑アップロード	 請求書上に印刷したい印鑑をアップロードします。 ・印鑑のファイル名は「stamp.jpg」または、「stamp.png」にします。 ・印鑑のサイズは 210×210~240×240 ピクセルが適当です。 ・印刷位置は固定されています。
売上単価 1 名称~4 名称	「売上伝票入力」画面の単価種別に表示する名称を変えたい場合に 20 文字以内で登録します。
口座情報 1 行目~3 行目	請求書に振込口座の情報を印刷したい場合に 40 桁以内で入力します。
請求書タイトル	請求書の名称を変更したい場合に9文字以内で入力します。 初期値は「請求書」です。
支払期限	請求書に支払期限を印刷したい場合に 25 文字以内で入力します。得意 先の請求方法によって、反映先が異なります。 ・都度請求の場合…請求書の出力時に印字されます。 ・締め請求の場合…請求書作成の画面にある「支払期限」に自動入力されます。。
備考	60 文字以内で備考情報を登録します。

1.3 自社部門マスタを登録する

社内の営業所や事業所が各地に分かれている場合、部門として登録します。

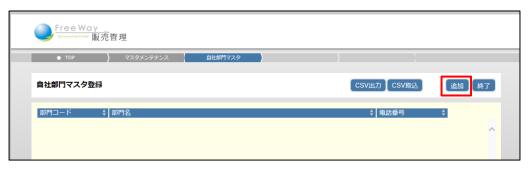
部門ごとに売上伝票を入力することにより、各種売上レポートや分析レポートで活用できます。 また、請求書を作成する際に部門ごとの住所や名称を印刷することができ、活用の幅が広がり ます。

1.3.1 部門を追加する

部門の追加は、手入力する方法と CSV ファイルを取り込む方法があります。 ここでは手入力する方法を説明します。

CSV ファイルを取り込む→ 「1.3.3 CSV ファイルで部門を追加する」参照

- 1. 「トップメニュー」>「マスタメンテナンス」>「自社部門マスタ登録」をクリックします。
- 2. 「自社部門マスタ登録」画面が表示されます。[追加] ボタンをクリックします。



3. 「自社部門マスタ登録(登録)」画面が表示されます。各項目を入力し、[登録] ボタンをクリックします。

入力項目について→ 「1.3.2 自社部門マスタの入力項目について」参照



4. 画面上部に、「*** 登録しました」と表示され、「自社部門マスタ登録」画面の一覧に 戻ります。

1.3.2 自社部門マスタの入力項目について

自社部門マスタの入力項目は以下のとおりです。

項目	文字(桁)数	内容
部門コード※	14 桁以内	部門コードを入力します。※登録後は変更できません。
部門名※	40 文字以内	部門名を入力します。
部門名カナ※	80 文字以内	「部門名」を入力すると、自動で表示されます。 手入力もできます。
部門名略称※	14 文字以内	部門名略称を入力します。
郵便番号※	半角数字7桁	郵便番号を入力します。 ※ハイフンは入力不要です。
部門住所 1※	40 文字以内	都道府県名を入力します。 ※郵便番号を入力すると自動で表示されます。
部門住所 2※	40 文字以内	市区町村名、番地を入力します。 ※郵便番号を入力すると市区町村名が自動で 表示されます。
部門住所3	40 文字以内	建物名を入力します。
TEL*	20 桁以内	電話番号を入力します。
FAX	20 桁以内	FAX 番号を入力します。
		売上伝票や請求書に部門名を印刷するかどう かを指定します。
部門名印刷区分		・「印刷しない」を選択し、売上伝票などで部門 を指定した場合
		→会社名・部門名とも印刷されません。
		•「印刷する」を選択し、売上伝票などで部門を 指定した場合
		→会社名・部門名とも印刷されます。
		※各帳票での部門名の印刷については、「1.3.6 各帳票での部門の指定と印刷について」を参照 してください。
備考	60 文字以内	備考情報を登録します。

※は登録必須です。

1.3.3 CSV ファイルで部門を追加する

CSV ファイルを取り込んで部門を追加します。複数の部門を一括で追加するときに便利です。

1.3.3.1 取込用 CSV ファイルを作成する

取込用の CSV フォーマットを保存し、CSV ファイルを作成します。

1. 「自社部門マスタ登録」画面で、[CSV 取込] ボタンをクリックします。



2. 「自社部門 CSV 取込」画面が表示されます。「フォーマット」をクリックします。



3. 画面下部に表示される「ファイルを開く」、または「保存」ボタンをクリックします。



注意 取込ファイル作成の注意!

取込用の CSV フォーマットは、ここで出力された「bumon.csv」を利用してください。 ※ [CSV 出力] ボタンで出力された CSV とは項目の書式が異なります。

4. フォーマットを利用し、取込用 CSV ファイルを作成します。
CSV の入力項目は、「■CSV ファイル項目」を参照してください。

■ CSV ファイル項目

1行目はタイトル行とし、2行目以降をデータ行とします。

CSV ファイルを Microsoft Excel で開いた例



項目	必須	桁数	文字型	備考
部門コード	0	14 桁以内	半角数字	
部門名	0	40 桁以内	全角•半角文字	
部門名カナ	0	80 桁以内	全角•半角文字	半角/全角は問いません
部門名略称	0	14 桁以内	全角•半角文字	
郵便番号	0	7 桁以内	半角数字	ハイフンは不要
住所 1	0	40 桁以内	全角•半角文字	都道府県
住所2	0	40 桁以内	全角•半角文字	市区町村、町地域名、地番
住所3		40 桁以内	全角•半角文字	ビル名
TEL	0	20 桁以内	半角数字	
FAX		20 桁以内	半角数字	
部門名印刷区分	0	"0"または"1"	半角英数	0:印刷しない、1:印刷する
備考		60 桁以内	全角•半角文字	

橘足 CSV ファイルを Excel で編集する場合の注意点

部門コードが「000010」のように、先頭が 0 (ゼロ) から始まる場合、CSV ファイル編集時に 0 (ゼロ) が消えてしまいます。(例 000010→10 になってしまう) 前後に「"」(ダブルクォーテーション) をつけると文字列として扱われます。

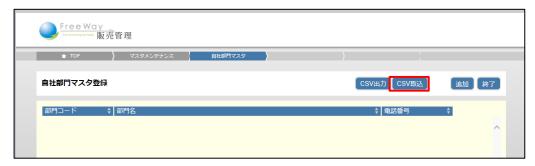


1.3.3.2 CSV ファイルを取り込む

注意 取り込み時の注意!

登録済みの部門コードが CSV ファイルに含まれていた場合、自社部門マスタの データは、CSV ファイルの内容で上書きされます。

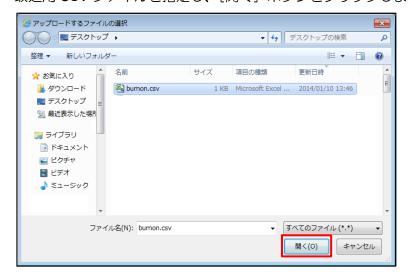
「自社部門マスタ登録」画面で、「CSV 取込」ボタンをクリックします。 1.



「自社部門 CSV 取込」画面が表示されます。[参照] ボタンをクリックします。 2.



取込用 CSV ファイルを指定し、[開く] ボタンをクリックします。



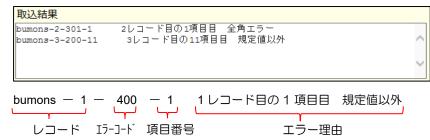
4. [CSV 取込] ボタンをクリックします。



画面上部に、「1 登録しました」と表示され、「自社部門マスタ登録」画面の一覧に 戻ります。

注意 エラーが表示された!

CSV ファイルの項目数や桁数などが定められたフォーマットにあっていない場合は、 エラーを表示して取込処理を停止します。 CSV ファイルを訂正し、再度取り込みをして ください。

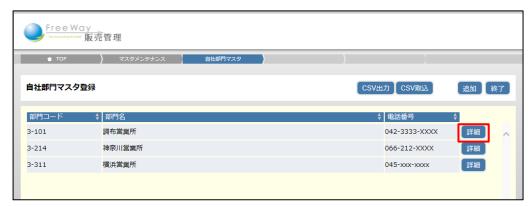


エラーコード	エラー理由	説明
100	桁あふれ	マスタ桁数以上の桁が入っている
200	数值以外	数値のみの項目に、数値以外が入っている
300	文字以外	文字のみの項目に、文字以外が入っている
301	全角エラー	半角のみの項目に、全角が入っている
400	規定値以外	規定されたコード以外のものが入っている
500	必須	必須項目が入力されていない
600	重複エラー	CSV ファイル内に重複するコードが存在する

1.3.4 部門を更新・削除する

■ 部門を更新する

1. 「自社部門マスタ登録」画面で、更新したい部門の[詳細]ボタンをクリックします。



2. 「自社部門マスタ登録(編集)」画面が表示されます。各項目を修正し、[更新] ボタンをクリックします。



3. 画面上部に、「<a>Image: 回面上部に、「 更新しました」と表示され、「自社部門マスタ登録」画面の一覧に 戻ります。

■ 部門を削除する

- 1. 「自社部門マスタ登録」画面で、削除したい部門の[詳細]ボタンをクリックします。
- 2. 「自社部門マスタ登録(編集)」画面が表示されます。[削除]ボタンをクリックします。
- 3. 確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
- 4. 画面上部に、「11 削除しました」と表示され、「自社部門マスタ登録」画面に戻ります。

注意 エラーが表示されて削除できない!

売上伝票等で使用されている部門の情報は削除できません。

1.3.5 部門を CSV ファイルに出力する

登録した部門を CSV ファイルに出力して確認できます。 登録内容の確認や保管用の部門リストとして利用できます。

1. 「自社部門マスタ登録」画面で、「CSV出力」ボタンをクリックします。



- 2. 「自社部門 CSV 出力」画面が表示されます。「部門 from」の [検索] ボタンを クリックします。
 - ※検索を利用せず、直接部門コードを手入力することもできます。



3. 「部門検索」画面が表示されます。「部門コード」をクリックします。



4. 同様に「部門 to」も部門コードを指定します。

5. [CSV 出力] ボタンをクリックします。



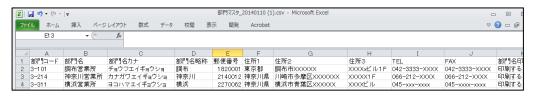
補足・ワンポイント

出力範囲(部門 from から部門 to)を指定しない場合は、全部門が CSV に出力されます。

6. 画面下部に表示される[ファイルを開く]、または[保存]ボタンをクリックします。



7. CSV ファイルが出力されます。



注意 出力したファイルについて

出力した CSV ファイルは、取込用ファイルと項目やフォーマットが違うため、CSV 取込にはそのまま利用できません。取込用ファイルの作成は「1.3.3.1 取込用 CSV ファイルを作成する」を参照してください。

1.3.6 各帳票での部門の指定と印刷について

売上伝票や請求書などの各帳票で部門を指定した場合の印刷について説明します。

1.3.6.1 売上伝票での指定

「自社部門マスタ」で登録した部門名や部門住所で売上伝票を印刷したい場合に指定します。納品書、受領書も同様に印刷されます。未指定の場合は、会社名と会社住所で印刷されます。



注意 会社名・部門ともに印刷されない!

- •自社部門マスタの「部門名印刷区分」で「印刷しない」を選択した場合、「売上伝票入力」画面で部門を指定しても印刷されません。
- ・基本情報登録の「会社名印刷区分」で「印刷しない」を選択した場合、「売上伝票入力」画面で部門を未指定にすると印刷されません。
- 部門の指定は、「売上伝票入力」画面で行います。
 - 「売上伝票入力」画面



- 部門が指定されている場合は、「売上伝票検索」画面や「売上伝票出力」画面の部門欄に表示されます。
 - 「売上伝票検索」画面



1.3.6.2 請求書での指定

「自社部門マスタ」で登録した部門名や部門住所で請求書を印刷したい場合に指定します。 未指定の場合は、会社名と会社住所で印刷されます。



注意会社名・部門ともに印刷されない!

- 自社部門マスタの「部門名印刷区分」で「印刷しない」を選択した場合、「請求書作成」画面で部門を指定しても印刷されません。
- ・基本情報登録の「会社名印刷区分」で「印刷しない」を選択した場合、「請求書作成」 画面で部門を未指定にすると印刷されません。

補足 ワンポイント

ここで指定した部門は、請求書を発行した部門としての印刷です。売上伝票入力時に入力した部門を集計するものではありません。



請求書の集計単位は得意先単位のため、他部門の売上も集計されます。

- 部門の指定は、「請求書作成」画面で行います。
 - 「請求書作成」画面



- 売上伝票入力時に部門が指定されている場合は、「請求書詳細」画面、「請求書再出力詳細」画面、「請求締解除処理詳細」画面の明細行の部門名欄に表示されます。
 - 「請求書詳細」画面



1.4 自社担当者マスタを登録する

売上伝票、請求書、入金伝票に入力する担当者情報を登録します。 レポート印刷での「担当者別」の基準にもなります。

1.4.1 担当者を追加する

- 1. 「トップメニュー」>「マスタメンテナンス」>「自社担当者マスタ登録」をクリックします。
- 2. 「自社担当者マスタ登録」画面が表示されます。[追加] ボタンをクリックします。



3. 「自社担当者マスタ登録(登録)」画面が表示されます。各項目を入力し、 [登録] ボタンをクリックします。



項目	文字(桁)数	内容
担当者コード	数字 8 桁以内	担当者コードを入力します。※登録後は変更できません。
担当者名	20 文字以内	担当者名を入力します。
担当者力ナ名	60 文字以内	「担当者名」を入力すると、自動で入力されます。手入力も できます。

注意 エラーが表示されて登録できない!

登録済みの担当者コードは使用できません。未使用の担当者コードを入力してください。

4. 画面上部に、「! 登録しました」と表示され、「自社担当者マスタ登録」画面の一覧に 戻ります。

1.4.2 担当者を更新・削除する

■ 担当者を更新する

1. 「自社担当者マスタ登録」画面で、更新したい担当者の[詳細]ボタンをクリックします。



2. 「自社担当者マスタ登録(編集)」画面が表示されます。内容を修正し、「更新」ボタンをクリックします。※担当者コードは変更できません。



3. 画面上部に、「New 更新しました」と表示され、「自社担当者マスタ登録」画面の一覧に 戻ります。

■ 担当者を削除する

- 1. 「自社担当者マスタ登録」画面で、削除したい担当者の [詳細] ボタンをクリックします。
- 2. 「自社担当者マスタ登録(編集)」画面が表示されます。[削除] ボタンをクリックします。
- 3. 確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
- 4. 画面上部に、「U)削除しました」と表示され、「自社担当者マスタ登録」画面の一覧に 戻ります。

注意 エラーが表示されて削除できない!

売上伝票で使用されている担当者の情報は削除できません。

1.5 入金区分マスタを登録する

入金区分マスタは、入金データを入力する際の「入金区分」に使用します。 フリーウェイ経理との連動でも利用します。

フリーウェイ経理との連動について→ 「9.1 会計データと連携する」参照

1.5.1 入金区分を追加する

あらかじめ、以下の入金区分が登録されています。必要に応じて追加します。

• 入金種別:現金、入金区分コード:1000、入金区分名:現金

• 入金種別:振込、入金区分コード:2000、入金区分名:銀行

- 1. 「トップメニュー」>「マスタメンテナンス」>「入金区分マスタ登録」をクリックします。
- 2. 「入金区分マスタ登録」画面が表示されます。「追加」ボタンをクリックします。



3. 「入金区分マスタ登録(登録)」画面が表示されます。各項目を入力し、[登録] ボタンをクリックします。



項目	文字(桁)数	内容
入金種別		現金・振込・手数料・手形 から選択します。※登録後は変更できません。
入金区分コード	4 桁以内	入金区分コードを入力します。※登録後は変更できません。
入金区分名	20 文字以内	入金区分名を入力します。

4. 画面上部に、「🚹 登録しました」と表示され、「入金区分マスタ登録」画面の一覧に 戻ります。

1.5.2 入金区分を更新・削除する

- 入金区分を更新する
- 1. 「入金区分マスタ登録」画面で、更新したい入金区分の[詳細]ボタンをクリックします。



2. 「入金区分マスタ登録(編集)」画面が表示されます。「入金区分名」を修正し、 「更新」ボタンをクリックします。※入金種別と入金区分コードは変更できません。



- 3. 画面上部に、「! 更新しました」と表示され、「入金区分マスタ登録」画面の一覧に 戻ります。
- 入金区分を削除する
- 1. 「入金区分マスタ登録」画面で、削除したい入金区分の[詳細]ボタンをクリックします。
- 2. 「入金区分マスタ登録(編集)」画面が表示されます。[削除] ボタンをクリックします。
- 3. 確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
- 4. 画面上部に、「! 削除しました」と表示され、「入金区分マスタ登録」画面の一覧に 戻ります。



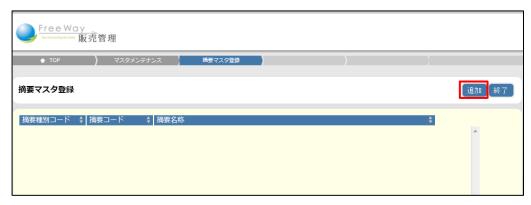
入金伝票で使用されている入金区分の情報は削除できません。

1.6 摘要マスタを登録する

売上伝票内の「摘要」欄に入力する内容を登録します。 よく使う摘要を登録しておくと便利です。

1.6.1 摘要を追加する

- 「トップメニュー」>「マスタメンテナンス」>「摘要マスタ登録」をクリックします。
- 2. 「摘要マスタ登録」画面が表示されます。[追加] ボタンをクリックします。



3. 「摘要マスタ登録(登録)」画面が表示されます。各項目を入力し、[登録] ボタンをクリックします。



項目	内容
摘要種別	「売上伝票」、「入金伝票」、「請求書」、「領収書」から選択します。※登録後は 変更できません。
摘要コード	4 桁以内で入力します。※登録後は変更できません。
摘要名	40 文字以内で入力します。

4. 画面上部に、「

「

登録しました」と表示され、「摘要マスタ登録」画面の一覧に

戻ります。

補足 ワンポイント

売上伝票、入金伝票、請求書出力時(締め請求の得意先のみ)に、摘要を登録すること もできます。

→ 「2.2 売上伝票を入力する(補足)摘要をマスタに登録する」参照

1.6.2 摘要を更新・削除する

■ 摘要を更新する

1. 「摘要マスタ登録」画面で、更新したい摘要の[詳細] ボタンをクリックします。



2. 「摘要マスタ登録(編集)」画面が表示されます。「摘要名」を修正し、 [更新] ボタンをクリックします。※摘要種別、摘要コードは変更できません。



3. 画面上部に、「!! 更新しました」と表示され、「摘要マスタ登録」画面の一覧に 戻ります。

■ 摘要を削除する

- 1. 「摘要マスタ登録」画面で、削除したい摘要の[詳細] ボタンをクリックします。
- 2. 「摘要マスタ登録(編集)」画面が表示されます。[削除] ボタンをクリックします。
- 3. 確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
- 4. 画面上部に、「III 削除しました」と表示され、「摘要マスタ登録」画面の一覧に 戻ります。

1.7 得意先マスタを登録する

得意先(取引先)の情報を登録します。

1.7.1 得意先を追加する

得意先の追加は、手入力する方法と CSV ファイルを取り込む方法があります。 ここでは手入力する方法を説明します。

CSV ファイルを取り込む→ 「1.7.4 CSV ファイルで得意先を追加する」参照

- 「トップメニュー」>「マスタメンテナンス」>「得意先マスタ登録」をクリックします。
- 2. 「得意先マスタ登録」画面が表示されます。[追加] ボタンをクリックします。



3. 「得意先マスタ登録(登録)」画面が表示されます。各項目を入力し、[登録] ボタンをクリックします。

入力項目について→ 「1.7.2 得意先マスタの入力項目について」参照



補足 「得意先敬称」について

「得意先敬称」の初期値は「御中」です。得意先が個人名の場合は「様」に変更することで、宛名を「得意先名+様」の形式で印刷できます。



4. 画面上部に、「<a>!
! 登録しました」と表示され、「得意先マスタ登録」画面の一覧に 戻ります。

|補足||「得意先を数値順で表示」について

当該の項目にチェックをつけている場合、得意先コードのうち「数値」と「テキスト形式の数値」を分けて並び替えます。チェックを外すと「文字コード順」に並び替えます。 ※本設定は各メニューの「得意先検索」の画面にも反映されます。

(例)「1、2、3、10、100」という得意先コードが登録されている場合、並び順は以下のようになります。

- 「得意先を数値順で表示」のチェックありの場合・・・「1、2、3、10、100」
- •「得意先を数値順で表示」のチェックなしの場合・・・「1、10、100、2、3」



1.7.2 得意先マスタの入力項目について

得意先マスタの入力項目は以下のとおりです。

項目	文字(桁)数	内容		
得意先コード※	14 桁以内	得意先コードを入力します。※登録後は変更できません。		
得意先名※	40 文字以内	得意先名を入力します。		
	80 文字以内	信息先名を入力します。 「得意先名」を入力すると、自動で表示されます。手入力も		
得意先名カナ※	-	できます。		
得意先名略称	14 文字以内	得意先名略称を入力します。		
得意先敬称※	4 文字以内	初期値は「御中」です。手入力もできます。		
郵便番号※	半角数字7桁	郵便番号を入力します。 ※ハイフンは入力不要です。		
得意先住所 1※	40 文字以内	都道府県名を入力します。 ※郵便番号を入力すると自動で表示されます。		
得意先住所 2※	40 文字以内	市区町村名、町域名、番地を入力します。 ※郵便番号を入力すると市区町村名が自動で表示されます。		
得意先住所 3	40 文字以内	建物名を入力します。		
TEL	20 桁以内	電話番号を入力します。		
FAX	20 桁以内	FAX 番号を入力します。		
メールアドレス	100 文字以内	担当者等のメールアドレスを入力します。		
ホームページ	100 文字以内	ホームページの URL を入力します。		
得意先担当者	20 文字以内	担当者の名前を入力します。 ※担当者名を登録していない場合は、売上伝票や請求書の 得意先名の後ろに「御中」を印刷します。		
担当者敬称	5 文字以内	初期値は「様」です。手入力もできます。		
部署名	40 文字以内	部署名を入力します。		
役職名	40 文字以内	役職名を入力します。		
単価種別※	-	得意先への売上単価の割り当てを選択します。		
税端数処理※	-	消費税を計算する際に端数が出た場合の処理方法を指定します。 切捨て・切上げ・四捨五入 から選択します。		
税処理※	-	商品の扱いを「外税」と「内税」のどちらにするかの指定、 および消費税計算のタイミングを指定します。		
	_	→ 「1.7.3 得意先マスタの税処理について」参照 「都度請求」と「締め請求」から選択します。		
 請求方法		・部及請求」と「神妙請求」から選択しより。 ※登録後は変更できません。		
		→ 「2.1 売上処理について ■2つの請求方法」参照		
締日指定	-	請求方法で「締め請求」を選択している場合に、締日を指定します。1~27 日、31 日が入力可能です。 月末日を指定する場合は「31」を入力します。指定しない場合は、請求書作成時に指定した「締年月日」以前の未請求売上が対象となり出力されます。		
売上伝票種別※	-			
納品書種別※	-	標準売上伝票/納品書/受領書/請求書・罫線なし売上伝票 品書/受領書/請求書 から選択します。あらかじめ罫線な		
受領書種別※	-	イトルが印刷された専用用紙を使用する場合は、「罫線な		
請求書種別※	-	─ し」を選択してください。 -		
期首売掛残高	11 桁以内	フリーウェイ販売管理の導入時点、または得意先マスタ登録時点での売掛金の残高を入力します。年次繰越後の年度		

項目	文字(桁)数	内容
		では、前年末の売掛残高が自動で入力されます。
緯度経度	-	スマートフォンから「得意先所在照会」した際に、地図表示するための 緯度経度を設定します。「会社住所」を入力し、[取得] ボタンを クリックすると、自動で取得できます。 → 「8.4 得意先所在地を照会する」参照
		箱度轻度 35.68918461,139.69164748 取得
備考	60 文字以内	備考情報を登録します。

※は登録必須です。

1.7.3 得意先マスタの税処理について

得意先マスタに登録する「税処理」は、以下から選択します。

項目	内容	備考
外税/伝票計	外税方式で、伝票単位に消費税の 計算をします。	商品マスタの単価に、売上単価(税抜)が登録 されている必要があります。 ただし、売上単価(税込)に登録されている場
外税/請求時	外税方式で、請求書出力時点で消 費税の計算をします。	合で、(税抜)に登録が無い場合は、税込の金額から自動算出します。※1
内税/伝票計	内税方式で、伝票単位に消費税の 計算をします。	商品マスタの単価に、売上単価(税込)が登録 されている必要があります。 ただし、売上単価(税抜)に登録されている場
内税/請求時	内税方式で、請求書出力時点で消 費税の計算をします。	合で、(税込)に登録が無い場合は、税抜の金額から自動算出します。※1
免税	消費税の計算は行われません。	
外税/手入力	消費税の自動計算を行わず、手入 カにて消費税の入力を行う場合に 指定します。	売上伝票入力の画面で、明細行で「消費税」を 選択した場合、この税処理に変更されます。

^{※1} 単価の自動算出では、基本情報登録の「消費税端数処理」の設定により、端数処理が行われます。

1.7.4 CSV ファイルで得意先を追加する

CSV ファイルを取り込んで得意先を追加します。複数の得意先を一括で追加するときに 便利です。

1.7.4.1 取込用 CSV ファイルを作成する

取込用の CSV フォーマットを保存し、CSV ファイルを作成します。

1. 「得意先マスタ登録」画面で、[CSV 取込] ボタンをクリックします。



2. 「得意先 CSV 取込」画面が表示されます。「フォーマット」をクリックします。



3. 画面下部に表示される [ファイルを開く]、または [保存] ボタンをクリックします。

注意 取込ファイル作成の注意!

取込用の CSV フォーマットは、ここで出力された「customer.csv」を利用してください。 ※ [CSV 出力] ボタンで出力された CSV とは項目の並びが異なります。

4. フォーマットを利用し、取込用 CSV ファイルを作成します。 CSV の入力項目は、「■CSV ファイル項目」を参照してください。

■ CSV ファイル項目

1行目はタイトル行とし、2行目以降をデータ行とします。

• CSV ファイルを Microsoft Excel で開いた例



項目	必須	桁数	文字型	備考
得意先コード	0	14 桁以内	半角数字	
得意先名	0	40 桁以内	全角•半角文字	
得意先名カナ	0	80 桁以内	全角•半角文字	半角/全角は問いません
略称		14 桁以内	全角•半角文字	
得意先敬称	0	4 桁以内	全角•半角文字	
郵便番号	0	7 桁以内	数字	ハイフンは不要
住所1	0	40 桁以内	全角・半角文字	都道府県
住所2	0	40 桁以内	全角•半角文字	市区町村、町地域名、地番
住所3	s	40 桁以内	全角•半角文字	ビル名
部署名		40 桁以内	全角・半角文字	
役職名		40 桁以内	全角•半角文字	
得意先担当者名		20 桁以内	全角•半角文字	
得意先担当者敬称		4 桁以内	全角•半角文字	
電話番号		20 桁以内	半角数字	
FAX 番号		20 桁以内	半角数字	
メールアドレス		100 桁以内	半角英数	
ホームページ		100 桁以内	半角英数	
単価種別	0	"1"から"5"	半角数字	1: 売上単価 1 2: 売上単価 2 3: 売上単価 3 4: 売上単価 4 5: 売上原価
税端数処理	0	"1"から"3"	半角数字	1: 切捨て 2: 切上げ 3: 四捨五入
税処理	0	"1"から"6"	半角数字	1:外税/伝票計 2:外税/請求時 3:内税/伝票計 4:内税/請求時 5:免税 6:外税/手入力
期首売掛残高		11 桁以内	半角数字	
都度請求	0	"0"または"1"	半角数字	0: しない 1: する ※都度請求は CSV 取込後、変更で きません。
締日指定		2 桁以内	半角数字	
備考		60 桁以内	全角•半角文字	

補足 CSV ファイルを Excel で編集する場合の注意点

得意先コードが「000010」のように、先頭が 0 (ゼロ) から始まる場合、CSV ファイル編集時に 0 (ゼロ) が消えてしまいます。(例 000010→10 になってしまう) 前後に「"」(ダブルクォーテーション) をつけると文字列として扱われます。

1.7.4.2 CSV ファイルを取り込む

注意 取り込み時の注意!

登録済みの得意先コードが CSV ファイルに含まれていた場合、得意先マスタのデータ は、CSV ファイルの内容で上書きされます。

1. 「得意先マスタ登録」画面で、[CSV 取込] ボタンをクリックします。



「得意先 CSV 取込」画面が表示されます。[参照] ボタンをクリックします。 2.



取込用 CSV ファイルを指定し、[開く] ボタンをクリックします。



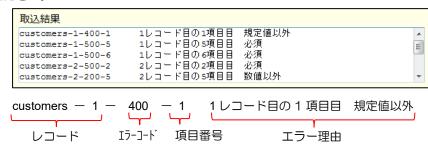
[CSV 取込] ボタンをクリックします。 4.



画面上部に、「11 登録しました」と表示され、「得意先マスタ登録」画面の一覧に 戻ります。

注意 エラーが表示された!

CSV ファイルの項目数や桁数などが定められたフォーマットにあっていない場合は、 エラーを表示して取込処理を停止します。 CSV ファイルを訂正し、再度取り込みをして ください。



Iラーコード	エラー理由	説明	
100	桁あふれ	マスタ桁数以上の桁が入っている	
200	数值以外	数値のみの項目に、数値以外が入っている	
300	文字以外	文字のみの項目に、文字以外が入っている	
301	全角エラー	半角のみの項目に、全角が入っている	
400	規定値以外	規定されたコード以外のものが入っている	
500	必須	必須項目が入力されていない	
600	重複エラー	CSV ファイル内に重複するコードが存在する	

1.7.5 得意先を更新・削除する

- 得意先を更新する
- 「得意先マスタ登録」画面で更新したい得意先の検索条件を入力し、「検索」ボタンを クリックします。
- 2. 更新したい得意先の[詳細]ボタンをクリックします。



3. 「得意先マスタ登録(編集)」画面が表示されます。各項目を修正し、[更新] ボタンをクリックします。



補足・ワンポイント

未請求の売上伝票がある場合、「税処理」の修正はできません。



4. 画面上部に、「U 更新しました」と表示され、「得意先マスタ登録」画面の一覧に 戻ります。

■ 得意先を削除する

- 1. 「得意先マスタ登録」画面で、削除したい得意先の[詳細]ボタンをクリックします。
- 2. 「得意先マスタ登録(編集)」画面が表示されます。[削除] ボタンをクリックします。
- 3. 確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
- 4. 画面上部に、「目削除しました」と表示され、「得意先マスタ登録」画面に戻ります。



売上伝票、入金入力で使用されている得意先の情報は削除できません。

1.7.6 得意先を CSV ファイルに出力する

登録した得意先を CSV ファイルに出力して確認できます。 登録内容の確認や保管用の得意先リストとして利用できます。

1. 「得意先マスタ登録」画面で、「CSV出力」ボタンをクリックします。



- 2. 「得意先 CSV 出力」画面が表示されます。「得意先 from」の [検索] ボタンを クリックします。
 - ※検索を利用せず、直接得意先コードを手入力することもできます。



3. 「得意先検索」画面が表示されます。「得意先コード」をクリックします。



- 4. 同様に「得意先 to」も得意先コードを指定します。
- 5. [CSV 出力] ボタンをクリックします。



補足 ワンポイント

出力範囲(得意先 from から得意先 to)を指定しない場合は、全得意先が CSV に出力されます。

- 6. 画面下部に表示される [ファイルを開く]、または [保存] ボタンをクリックします。
- 7. CSV ファイルが出力されます。

注意 出力したファイルについて

出力した CSV ファイルは、取込用ファイルと項目やフォーマットが違うため、CSV 取込にはそのまま利用できません。取込用ファイルの作成は「1.7.4.1 取込用 CSV ファイルを作成する」を参照してください。

1.8 商品カテゴリーマスタを登録する

商品をカテゴリー分けして登録・管理します。商品大分類 - 商品中分類 - 商品小分類と 関連性を持たせて登録することにより、検索時などにカテゴリーを使い絞り込みが可能です。

(例)

商品大分類	商品中分類	商品小分類
10010 飲料水	40040 04 T8t-1	10010-01-001 輸入品
10010 民众科小	10010-01 天然水 	10010-01-002 国産品
30010 インスタント食品	30010-01 麺類	30010-01-001 ラーメン類
30010 インスタンド長品		30010-01-002 うどん類
	40020-01 業務用	40020-01-001 3斤タイプ
40020 食パン類	40020-01 業務用	40020-01-002 耳カット済(3斤)
40020 食パン類	40020-02 家庭用	40020-02-001 1斤タイプ
	40020-02 家庭用	40020-02-002 3斤タイプ

1.8.1 商品カテゴリーを追加する

商品カテゴリーの追加は、手入力する方法と CSV ファイルを取り込む方法があります。 ここでは手入力する方法を説明します。

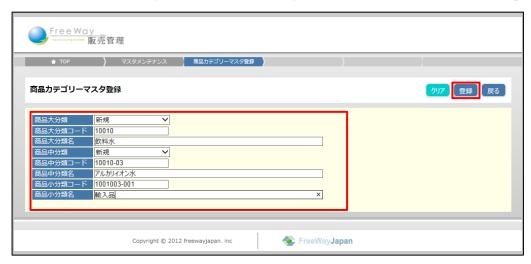
CSV ファイルを取り込む→ 「1.8.3 CSV ファイルで商品カテゴリーを追加する」参照

- 1. 「トップメニュー」>「マスタメンテナンス」>「商品カテゴリーマスタ登録」を クリックします。
- 2. 「商品カテゴリーマスタ登録」画面が表示されます。[追加] ボタンをクリックします。



3. 「商品カテゴリーマスタ登録(登録)」画面が表示されます。各項目を入力し、 [登録] ボタンをクリックします。

入力項目について→ 「1.8.2 商品カテゴリーマスタの入力項目について」参照



4. 画面上部に、「

「

登録しました」と表示され、「

「

商品カテゴリーマスタ登録」画面の

一覧に戻ります。

1.8.2 商品カテゴリーマスタの入力項目について

商品カテゴリーマスタの入力項目は以下のとおりです。

項目	文字(桁)数	内容		
商品大分類	-	新規に登録する場合は、「新規」を選択します。 登録済みの商品大分類から選択する場合は、リストから選択します。		
商品大分類コード	8 桁以内	商品大分類コードを入力します。 ※商品大分類で「新規」を選択した場合のみ表示されます。		
商品大分類名	14 文字以内	商品大分類の名称を入力します。 ※商品大分類で「新規」を選択した場合のみ表示されます。		
商品中分類	-	新規に登録する場合は、「新規」を選択します。 登録済みの商品中分類から選択する場合は、リストから選択します。		
商品中分類コード	14 桁以内	商品中分類コードを入力します。 ※商品中分類で「新規」を選択した場合のみ表示されます。		
商品中分類名	40 文字以内	商品中分類の名称を入力します。 ※商品中分類で「新規」を選択した場合のみ表示されます。		
商品小分類コード	14 桁以内	商品小分類コードを入力します。 ※商品大分類、商品中分類のみ登録する場合は、入力不要です。		
商品小分類名	40 文字以内	商品小分類の名称を入力します。 ※商品大分類、商品中分類のみ登録する場合は、入力不要です。		

1.8.3 CSV ファイルで商品カテゴリーを追加する

CSV ファイルを取り込んで商品カテゴリーを追加します。複数の商品カテゴリーを一括で追加するときに便利です。

1.8.3.1 取込用 CSV ファイルを作成する

取込用の CSV フォーマットを保存し、CSV ファイルを作成します。

1. 「商品カテゴリーマスタ登録」画面で、[CSV 取込] ボタンをクリックします。



2. 「商品カテゴリーCSV 取込」画面が表示されます。「フォーマット」をクリックします。



3. 画面下部に表示される[ファイルを開く]、または[保存]ボタンをクリックします。

注意 取込ファイル作成の注意!

取込用の CSV フォーマットは、ここで出力された「category.csv」を利用してください。

4. フォーマットを利用し、取込用 CSV ファイルを作成します。 CSV の入力項目は、「■CSV ファイル項目」を参照してください。

■ CSV ファイル項目

1行目はタイトル行とし、2行目以降をデータ行とします。

CSV ファイルを Microsoft Excel で開いた例



項目	必須	文字(桁)数	文字型	備考
商品大分類コード	0	8 桁以内	半角数字	
商品大分類名	0	14 文字以内	全角・半角文字	
商品中分類コード	0	14 桁以内	半角数字	
商品中分類名	0	40 文字以内	全角・半角文字	
商品小分類コード		14 桁以内	半角数字	
商品小分類名		40 文字以内	全角•半角文字	

橘 足 ▶CSV ファイルを Excel で編集する場合の注意点

商品カテゴリーコードや分類コードが「000010」のように、先頭が 0(ゼロ)から始まる場合、CSV ファイル編集時に 0(ゼロ)が消えてしまいます。

(例 000010→10 になってしまう)

前後に「"」(ダブルクォーテーション)をつけると文字列として扱われます。

1.8.3.2 CSV ファイルを取り込む

注意 取り込み時の注意!

登録済みの商品カテゴリーコードが CSV ファイルに含まれていた場合、商品カテゴリーマスタのデータは、CSV ファイルの内容で上書きされます。

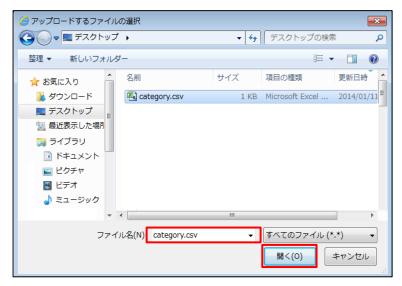
1. 「商品カテゴリーマスタ登録」画面で、[CSV 取込] ボタンをクリックします。



2. 「商品カテゴリーCSV 取込」画面が表示されます。[参照] ボタンをクリックします。



3. 取込用 CSV ファイルを指定し、[開く] ボタンをクリックします。



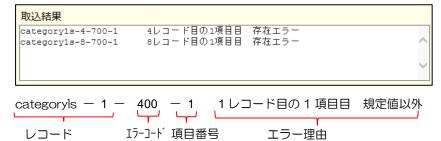
4. [CSV 取込] ボタンをクリックします。



5. 画面上部に、「●登録しました」と表示され、「商品カテゴリーマスタ登録」画面の 一覧に戻ります。

注意 エラーが表示された!

CSV ファイルの項目数や桁数などが定められたフォーマットにあっていない場合は、エラーを表示して取込処理を停止します。 CSV ファイルを訂正し、再度取り込みをしてください。



エラーコード	エラー理由	説明
100	桁あふれ	マスタ桁数以上の桁が入っている
200	数值以外	数値のみの項目に、数値以外が入っている
300	文字以外	文字のみの項目に、文字以外が入っている
301	全角エラー	半角のみの項目に、全角が入っている
400	規定値以外	規定されたコード以外のものが入っている
500	必須	必須項目が入力されていない
600	重複エラー	CSV ファイル内に重複するコードが存在する
700	存在エラー	商品分類に登録されていないものが入っている

1.8.4 商品カテゴリーを更新・削除する

- 商品カテゴリーを更新する
- 1. 「商品カテゴリーマスタ登録」画面で、更新したい商品の [詳細] ボタンをクリック します。



2. 「商品カテゴリーマスタ登録(編集)」画面が表示されます。各項目を修正し、 「更新」ボタンをクリックします。



- 3. 画面上部に、「<a href="mailto:10px] 更新しました」と表示され、「商品カテゴリーマスタ登録」画面の一覧に戻ります。
- 商品カテゴリーを削除する
- 「商品カテゴリーマスタ登録」画面で、削除したい商品カテゴリーの [詳細] ボタンを クリックします。
- 2. 「商品カテゴリーマスタ登録(編集)」画面が表示されます。[削除] ボタンをクリックします。
- 3. 確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
- 4. 画面上部に、「●削除しました」と表示され、「商品カテゴリーマスタ登録」画面に 戻ります。

注意 エラーが表示されて削除できない!

商品マスタで使用されている商品カテゴリーの情報は削除できません。

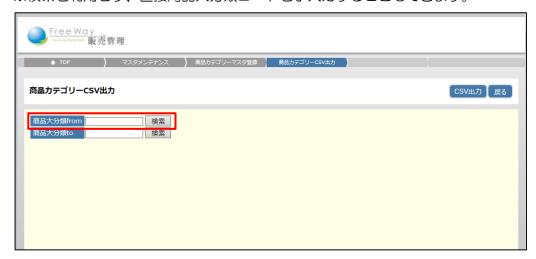
1.8.5 商品カテゴリーを CSV ファイルに出力する

登録した商品カテゴリーを CSV ファイルに出力して確認できます。 登録した内容の確認や商品カテゴリーリストとして利用できます。

1. 「商品カテゴリーマスタ登録」画面で、「CSV 出力」ボタンをクリックします。



- 2. 「商品カテゴリーCSV 出力」画面が表示されます。「商品大分類 from」の [検索] ボタンをクリックします。
 - ※検索を利用せず、直接商品大分類コードを手入力することもできます。



3. 「商品大分類検索」画面が表示されます。検索条件を入力し、[検索] ボタンを クリックします。検索結果から対象の商品大分類コードをクリックして指定します。



- 4. 同様に「商品大分類 to」も商品大分類コードを指定します。
- 5. [CSV 出力] ボタンをクリックします。



補足・ワンポイント

出力範囲(商品大分類 from から商品大分類 to)を指定しない場合は、全商品大分類が CSV に出力されます。

- 6. 画面下部に表示される [ファイルを開く]、または [保存] ボタンをクリックします。
- 7. CSV ファイルが出力されます。



1.9 商品マスタを登録する

商品の情報を登録します。

1.9.1 商品を追加する

商品の追加は、手入力する方法と CSV ファイルを取り込む方法があります。 ここでは手入力する方法を説明します。

CSV ファイルを取り込む→ 「1.9.3 CSV ファイルで商品を追加する」参照

- 「トップメニュー」>「マスタメンテナンス」>「商品マスタ登録」をクリックします。
- 2. 「商品マスタ登録」画面が表示されます。[追加] ボタンをクリックします。



3. 「商品マスタ登録(登録)」画面が表示されます。各項目を入力し、[登録] ボタンを クリックします。

入力項目について→ 「1.9.2 商品マスタの入力項目について」参照



4. 画面上部に、「U 登録しました」と表示され、「商品マスタ登録」画面の一覧に 戻ります。

1.9.2 商品マスタの入力項目について

商品マスタの入力項目は以下のとおりです。

項目	文字(桁)数	内容
商品コード※	15 桁以内	商品コードを入力します。※登録後は変更できません。
商品名※	40 文字以内	商品名を入力します。
商品名力ナ※	80 文字以内	「商品名」を入力すると、自動で表示されます。手入力もできます。
商品大分類	-	商品大分類をリストから選択します。
商品中分類	-	商品中分類をリストから選択します。
商品小分類	-	商品小分類をリストから選択します。
単位	-	単位の呼び名を入力します。 全角で2文字、半角で4文字まで帳票出力します。
入数	8 桁以内	1ケースあたりの個数を入力します。 ケース販売した際の数量計算に利用されます。
課税区分※	-	課税対象商品・非課税対象商品・課税対象外商品 から選択 します。
軽減税率対象品		軽減税率対象品である場合チェックをつけます。
売上単価 1(税抜)/ 売上単価 1(税込)※	9 桁以内	売上単価を入力します。 「売上伝票入力」画面で商品を指定した際の「単価」に利用 されます。
売上単価 2~4(税抜)/ 売上単価 2~4(税込)	9 桁以内	売上単価を入力します。売上単価 2 から 4 の入力は任意です。
売上原価(税抜)/ 売上原価(税込)	9 桁以内	売上原価を入力します。 「売上伝票入力」画面で商品を指定した際の「原単価」と「粗 利計算」に利用されます。
備考	60 文字以内	備考情報を登録します。

※は登録必須です。

補足 売上単価について

単価は税抜、税込のどちらで運用するかによって、どちらかに金額を登録してください。

1.9.3 CSV ファイルで商品を追加する

CSV ファイルを取り込んで商品を追加します。複数の商品を一括で追加するときに便利です。 また、消費税が変わった場合に、一括で単価の書き換えを行うこともできます。

1.9.3.1 取込用 CSV ファイルを作成する

取込用の CSV フォーマットを保存し、CSV ファイルを作成します。

1. 「商品マスタ登録」画面で、[CSV 取込] ボタンをクリックします。



2. 「商品 CSV 取込」画面が表示されます。「フォーマット」をクリックします。



3. 画面下部に表示される [ファイルを開く]、または [保存] ボタンをクリックします。

注意 取込ファイル作成の注意!

取込用の CSV フォーマットは、ここで出力された「item.csv」を利用してください。 ※ [CSV 出力] ボタンで出力された CSV とは項目の並びが異なります。

4. フォーマットを利用し、取込用 CSV ファイルを作成します。 CSV の入力項目は、「■CSV ファイル項目」を参照してください。

■ CSV ファイル項目

1行目はタイトル行とし、2行目以降をデータ行とします。

• CSV ファイルを Microsoft Excel で開いた例



項目	必須	桁数	文字型	備考
商品コード	0	15 桁以内	半角英数	
商品名	0	40 桁以内	全角・半角文字	
商品カナ名	0	80 桁以内	全角•半角文字	
商品大分類コード		8 桁以内	半角数字	
商品中分類コード		14 桁以内	半角数字	
商品小分類コード		14 桁以内	半角数字	
単位		8 桁以内	全角•半角文字	全角で 2 文字、半角で 4 文字まで 帳票出力します。
入数		9 桁以内	半角数字	
課税区分	0	"1"から"3"	半角数字	税区分を指定します。 1:課税対象商品、 2:非課税対象商品、 3:課税対象外商品
売上単価1(税抜)	0	9 桁以内	半角数字	売上単価1(税抜)、売上単価1(税
売上単価1(税込)	0	9 桁以内	半角数字	込)のどちらかを必須とします。
売上単価2(税抜)		9 桁以内	半角数字	
売上単価2(税込)		9 桁以内	半角数字	
売上単価3(税抜)		9 桁以内	半角数字	
売上単価3(税込)		9 桁以内	半角数字	
売上単価4(税抜)		9 桁以内	半角数字	
売上単価4(税込)		9 桁以内	半角数字	
売上原価(税抜)		9 桁以内	半角数字	
売上原価(税込)		9 桁以内	半角数字	
備考		60 桁以内	全角・半角文字	

補足 CSV ファイルを Excel で編集する場合の注意点

商品コードが「000010」のように、先頭が 0 (ゼロ) から始まる場合、CSV ファイル編集時に 0 (ゼロ) が消えてしまいます。(例 000010→10 になってしまう) 前後に「"」(ダブルクォーテーション) をつけると文字列として扱われます。

1.9.3.2 CSV ファイルを取り込む

注意 取り込み時の注意!

登録済みの商品コードが CSV ファイルに含まれていた場合、商品マスタのデータは、CSV ファイルの内容で上書きされます。

1. 「商品マスタ登録」で、[CSV 取込] ボタンをクリックします。



2. 「商品 CSV 取込」画面が表示されます。[参照] ボタンをクリックします。



3. 取込用 CSV ファイルを指定し、[開く] ボタンをクリックします。



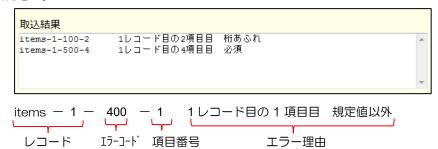
4. [CSV 取込] ボタンをクリックします。



画面上部に、「11 登録しました」と表示され、「商品マスタ登録」画面の一覧に 5. 戻ります。

注意 エラーが表示された!

CSV ファイルの項目数や桁数などが定められたフォーマットにあっていない場合は、 エラーを表示して取込処理を停止します。CSV ファイルを訂正し、再度取り込みをして ください。



I ラ−コ−ド	エラー理由	説明	
100	桁あふれ	マスタ桁数以上の桁が入っている	
200	数值以外	数値のみの項目に、数値以外が入っている	
300	文字以外	文字のみの項目に、文字以外が入っている	
301	全角エラー	半角のみの項目に、全角が入っている	
400	規定値以外	規定されたコード以外のものが入っている	
500	必須	必須項目が入力されていない	
600	重複エラー	CSV ファイル内に重複するコードが存在する	
700	存在エラー	商品分類に登録されていないものが入っている	

1.9.4 商品を更新・削除する

- 商品を更新する
- 1. 「商品マスタ登録」画面で更新したい商品の検索条件を入力し、「検索」ボタンをクリックします。
- 2. 更新したい商品の[詳細]ボタンをクリックします。



3. 「商品マスタ登録(編集)」画面が表示されます。各項目を修正し、[更新] ボタンをクリックします。



4. 画面上部に、「(!) 更新しました」と表示され、「商品マスタ登録」画面の一覧に 戻ります。

■ 商品を削除する

- 1. 「商品マスタ登録」画面で、削除したい商品の[詳細]ボタンをクリックします。
- 2. 「商品マスタ登録(編集)」画面が表示されます。[削除] ボタンをクリックします。
- 3. 確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
- 4. 画面上部に、「11 削除しました」と表示され、「商品マスタ登録」画面に戻ります。



売上伝票で使用されている商品の情報は削除できません。

1.9.5 商品を **CSV** ファイルに出力する

登録した商品を CSV ファイルに出力して確認できます。 登録した内容の確認や商品リストとして利用できます。

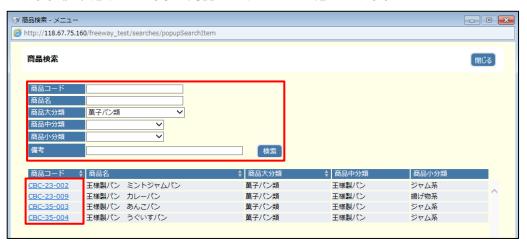
1. 「商品マスタ登録」で、「CSV 出力」ボタンをクリックします。



- 2. 「商品 CSV 出力」画面が表示されます。「商品 from」の [検索] ボタンをクリックします。
 - ※検索を利用せず、直接商品コードを手入力することもできます。



3. 「商品検索」画面が表示されます。検索条件を入力し、「検索」ボタンをクリックします。検索結果から対象の商品をクリックして指定します。



4. 同様に「商品 to」も商品コードを指定します。

[CSV 出力] ボタンをクリックします。 5.



補足・ワンポイント

出力範囲(商品 from から商品 to)を指定しない場合は、全商品が CSV に 出力されます。

- 画面下部に表示される[ファイルを開く]、または[保存]ボタンをクリックします。
- CSV ファイルが出力されます。 7.



注意 出力したファイルについて!

出力した CSV ファイルは、取込用ファイルと項目やフォーマットが違うため、CSV 取 込にはそのまま利用できません。取込用ファイルの作成は「1.9.3.1 取込用 CSV ファイ ルを作成する」を参照してください。

2. 売上を入力する

- 2.1 売上処理について
- 2.2 売上伝票を入力する
- 2.3 売上伝票を出力する

2.1 売上処理について

売上から請求までの処理は、得意先への請求方法によって操作内容が異なります。

■ 2つの請求方法

得意先ごとに、「一括請求」または「都度請求」のいずれかに設定されています。

- 締め請求(一括請求/売掛販売)
 - ・請求期間内の売上をまとめて請求する場合
 - 得意先の支店・営業所からの発注をまとめて本社へ一括請求する場合 など
- 都度請求
 - ・売上発生毎に請求する場合(通販業など) ※売上入力と同時に請求書を発行します。

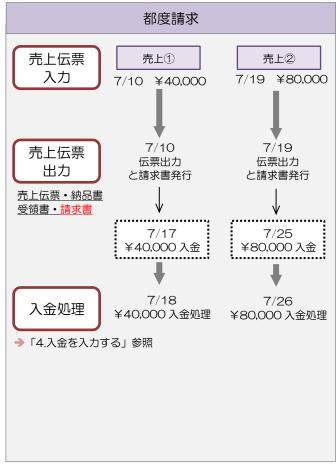
補足 請求方法を確認するには

得意先マスタ登録の「請求方法」の設定を確認します。



■ 請求方法別の主な流れ(「売上伝票入力」から「入金処理」)





■ 伝票の種類

「売上伝票出力」では、以下の伝票を出力できます。

名称	イメージ	名称	イメージ
売上伝票	12 - 15	受領書	10.001
納品書	10 日本 10	請求書※	THE COLUMN THE

※都度請求の場合に出力できます。

締め請求の得意先は、「請求業務」>「請求書作成」から請求書を発行します。

■ 売上業務メニュー

「トップメニュー」から「売上業務」をクリックして起動します。



2.2 売上伝票を入力する

売上伝票の入力方法について説明します。

入力項目について→「2.2.1 売上伝票の入力項目について」参照

- 1. 「トップメニュー」>「売上業務」>「売上伝票入力」をクリックします。
- 2. 「売上伝票入力」画面が表示されます。ヘッダ部分(伝票番号から単価種別)を入力します。

補足 伝票番号について

伝票番号は「基本情報登録」画面で「伝票付番方法」を「自動発行」に設定している場合は入力不要です。登録後に伝票番号が自動で付与されます。 自動発行の設定をしていても、伝票番号を手入力した場合は、その番号で登録されます。

(1) 売上日付を入力するか、カレンダーから選択します。

注意 日付入力時の注意!

日付は現在選択している年度内(年度開始日(期首日)~期末日)を指定してください。 年度外の日付を指定すると、登録時にエラーが表示され保存できません。

- (2) 部門を指定する場合は、部門コードを入力するか、[検索] ボタンをクリックして、「部門検索」画面から指定します。
- (3) 当社担当者に担当者コードを入力するか、[検索]ボタンをクリックして、「担当者検索」 画面から指定します。
- (4) 請求先に得意先コードを入力するか、[検索] ボタンクリックして、「得意先検索」画面から指定します。



補足 請求先を指定すると自動入力される内容

請求先を指定すると、納品先、消費税、単価種別が自動で表示されます。 納品先が請求先と異なる場合は変更します。

補足 得意先を登録していなかった場合

請求先と納品先の [検索] をクリックすると、得意先マスタの検索画面が表示されます。 売上伝票に登録する得意先が登録されていなかった場合は、検索画面の [新規登録] からも登録が可能です。



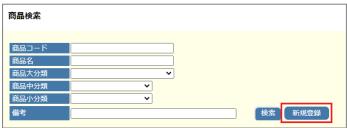
- 3. 明細行(内訳区分から備考)を入力します。
 - (1) 内訳区分を選択します。ここでは例として「通常」を選択します。

内訳区分について→ 「●内訳区分の使い分け」参照

(2) 商品コードを入力するか、[検索] ボタンをクリックして、「商品検索」画面から指定します。

補足 商品を登録していなかった場合

検索画面の[新規登録]からでも商品マスタの新規登録が可能です。



- (3) 数量を入力します。ケース単位で販売した場合は、ケースに数を入力します。 金額が自動計算されます。
- (4) 必要に応じて備考を入力します。



補足・明細行を追加する

- ・明細行を複数登録するには、[行追加] ボタンをクリックして行を追加します。行を追加した順番に明細が表示されます。
- ※行の順番を入れ替えることはできません。
- •1 枚の伝票に登録する行数が 800 行前後(※)に達すると、登録できない場合があります。登録できない行は別の売上伝票として登録してください。
- ※行数の上限はおおよその目安です。1行で使用する項目数によって登録できる行数は変動します。

4. 必要に応じて、伝票備考(摘要)を入力します。 「検索」ボタンをクリックして、「伝票備考検索」画面から指定もできます。



補足 摘要をマスタに登録する

「摘要マスタに登録」のチェックボックスにチェックをつけると、「摘要マスタ」に登録ができます。

登録と同時に伝票を出力したい場合は、チェックボックスにチェックをつけます。
 ※あとで出力する場合は、チェックは不要です。



補足 「伝票同時出力」で出力される伝票について

出力される伝票は、請求先となる得意先の「請求方法」の設定により異なります。

「都度請求」・・・ 売上伝票、都度請求書、受領書、納品書

「締め請求」・・・売上伝票、受領書、納品書

「締め請求」の請求書出力について→ 「●3.2 請求書を発行する」参照

6. 担当者名を印字する場合は、チェックボックスにチェックをつけます。



7. 伝票摘要を請求書に印字する場合は、「伝票備考を請求書に印字する」のチェックボックスにチェックをつけます。



8. すべての入力が完了したら、[登録] ボタンをクリックします。



補足・ワンポイント

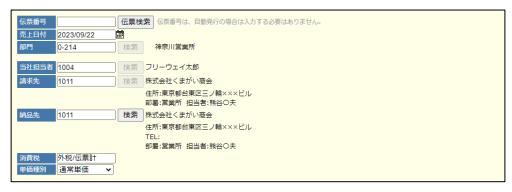
手順5で、「伝票同時出力」のチェックボックスにチェックをつけた場合、ファイル保存のメッセージが表示されます。 PDF出力の詳細は「■基本操作3.共通操作■帳票をPDFに出力する」を参照してください。

9. 画面上部に、「🛂 登録しました」と表示され、新規の「売上伝票入力」画面に戻ります。

2.2.1 売上伝票の入力項目について

売上伝票の入力項目は以下のとおりです。

■ ヘッダの入力項目



項目	文字(桁)数	内容		
伝票番号	10 桁以内	「基本情報登録」画面で「伝票付番方法」を「自動発行」に設定している 場合は入力不要です。登録後に伝票番号が自動で付与されます。 ※自動発行の設定をしていても、伝票番号を手入力した場合は、その番号 で登録されます。		
売上日付	-	年度開始日(期首日)から期末日までの間で、売上を計上する日付を指定します。手入力(形式「yyyy/mm/dd」)するか、カレンダーから選択します。ここで指定した日付が、売上伝票・納品書・受領書・請求書の日付に表示されます。		
音門	15 桁以内	売上伝票に「自社部門マスタ」で登録した部門名や部門住所を印刷したい場合に指定します。登録済みの部門コードを手入力するか、「検索」ボタンをクリックして「部門検索」画面から指定します。 詳細は「1.3.6 各帳票での部門の指定と印刷について」を参照してください。		
登録済みの担当者コードを手入力するか、[検索] ボタンをクリッ 当社担当者 10 桁以内 「担当者検索」画面から指定します。 ※あらかじめ「自社担当者マスタ」の登録が必要です。				
請求先	14 桁以内	登録済みの得意先コードを手入力するか、[検索] ボタンをクリックして 「得意先検索」画面から指定します。		
納品先	-	「請求先」を指定すると、同じ得意先が表示されます。 請求先と納品先が異なる場合は修正してください。 (例)請求は本社にするが納品先が営業所の場合、など		
消費税	-	「請求先」に指定した得意先の税処理区分が自動で表示されます。 伝票入力画面での変更はできません。 (税処理区分は、「得意先マスタ」を参照しています) ■得意先マスタの設定例 「得意先マスタ受録 「得意先マスタ受録 「特別では、「は、これでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、「は、一般のでは、「は、一般ので		

項目	文字(桁)数	内容
		「請求先」に指定した得意先の単価種別が自動で表示されます。 (単価種別は、「得意先マスタ」を参照しています)
		■ 得意先マスタの設定例 得意先マスタ登録
単価種別	-	### ### ### ### #### ###############
		必要に応じて変更が可能です。変更した場合は、各明細行の「単価」の金額も変わります。 ※「基本情報登録」画面で単価名称を変更している場合は、単価種別の選択肢が売上単価 1~4 以外の表示です。

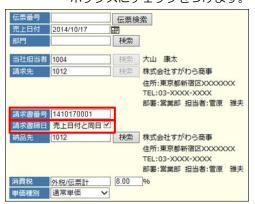
補足を都度請求の場合

都度請求の請求先を選択した場合は、以下の項目が表示されます。

請求書番号:「基本情報登録」の「請求書付番方法」を「手入力」としている

場合に表示されます。任意の請求書番号を入力します。

請求書締日:売上日と請求書締日が同じ場合は、「売上日付と同日」チェックボックスにチェックをつけます。



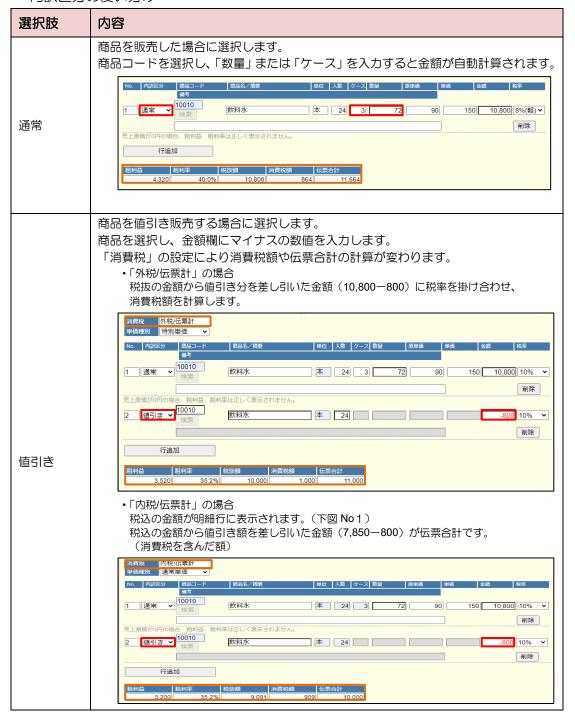
明細行の入力項目

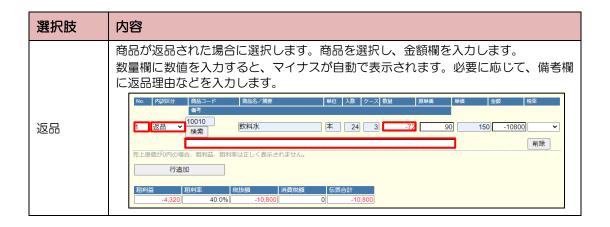


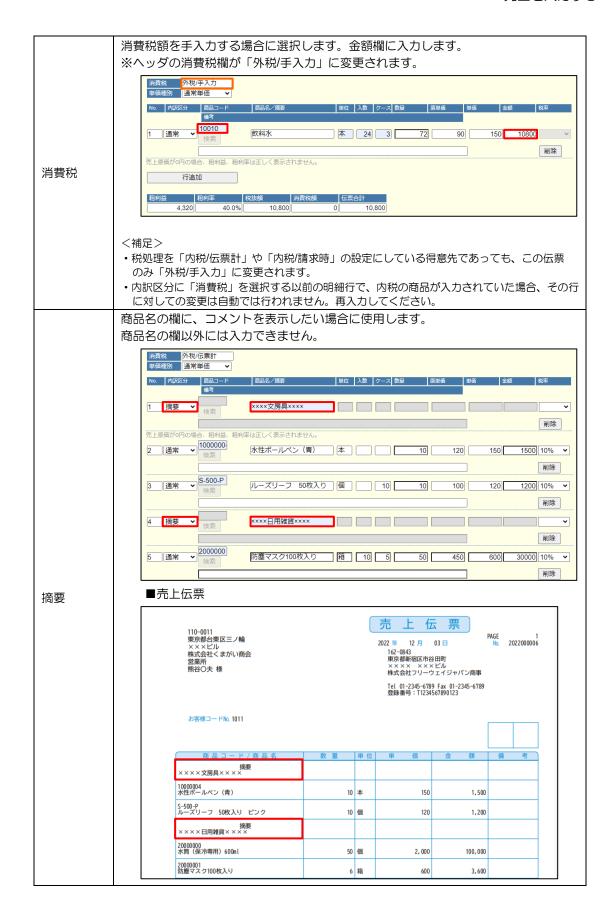
項目	内容		
No	自動で表示されます。		
内訳区分	通常・値引き・返品・消費税・摘要から選択します。(初期値は通常) 使い分け方法は「●内訳区分の使い分け」を参照してください。		
商品コード	登録済みの商品コードを 15 桁以内で手入力するか、[検索] ボタンをクリックして「商品検索」画面から指定します。 ※あらかじめ「商品マスタ」の登録が必要です。		
商品名/摘要			
単位	── 「商品コード」で指定したコードの商品名・単位・入数が表示されます。 ── 通常は修正する必要はありません。		
入数	世市は同正する必要はありなどが。		
ケース	ケース単位で販売した場合に、ケース数を9桁以内で入力します。 (バラ売りの場合は、空欄にします) ケースを入力すると、入数×ケースの個数が数量に表示されます。 (例)入数「10」の商品に対してケース「5」を入力すると、数量「50」となる		
数量	「入数」と「ケース」が入力されている場合、自動で表示されます。 自動表示の条件を満たさない場合、17 桁以内で手入力できます。		
原単価	「商品コード」で指定したコードの売上原価が表示されます。		
単価	■商品マスタの設定例 商品マスタ登録		
金額	ケースまたは数量が入力されると、計算結果が表示されます。		
税率	「商品コード」で指定したコードの税率が表示されます。 ※通常は修正する必要はありません。		

項目 内容	
備考	40 文字以内で備考情報を登録します。 売上伝票・納品書・請求書の商品備考欄に表示されます。
[削除] ボタン	明細行を削除します。明細行が1行しかない場合は、削除できません。
[行追加] ボタン	明細行を追加します。

内訳区分の使い分け

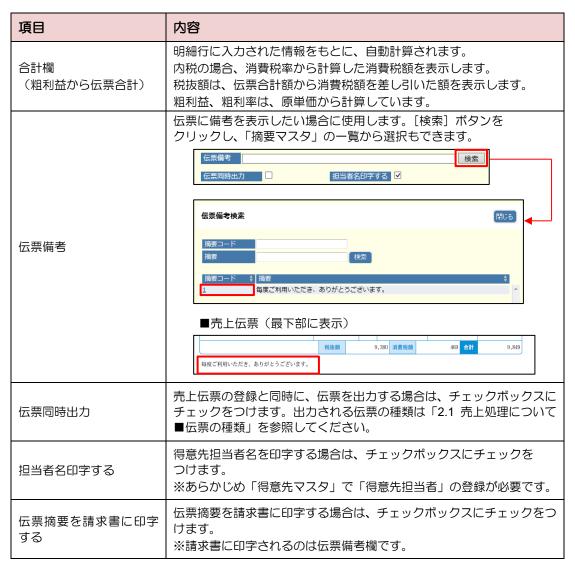






合計欄以下の入力項目





補足を得意先の宛名の印字について

指定方法によって以下のように変わります。受領書・納品書・売上伝票いずれも共通の仕様です。

得意先マスタの登録内容		「担当者名印字する」	伝票の印字結果
担当者敬称	得意先担当者	のチェック	仏宗の中子和未
登録あり	登録あり	あり	得意先名+担当者名+ 担当者敬称
登録あり	登録あり	なし	
登録なし	登録あり	あり	
登録なし	登録あり	なし	
登録あり	登録なし	あり	得意先名+得意先敬称
登録あり	登録なし	なし	
登録なし	登録なし	あり	
登録なし	登録なし	なし	

2.2.2 売上伝票を訂正・複写・削除する

2.2.2.1 売上伝票を訂正する

- 1. 「売上伝票入力」画面で、訂正したい伝票を指定します。
 - 伝票番号が分かる場合 「伝票番号」を入力して「伝票検索」ボタンをクリックします。



伝票番号が分からない場合

伝票番号は空欄のまま[伝票検索]ボタンをクリックします。

「売上伝票検索」画面を表示し、条件を指定して [検索] をクリックし、訂正したい伝票番号をクリックします。



2. 伝票を訂正後、[更新] ボタンをクリックします。



注意 売上伝票が訂正できない!

請求書を出力した売上伝票は、「請求締済み」の状態になり、訂正できなくなります。 訂正したい場合は、「請求締解除処理」で請求書の締めを解除してから訂正します。

→ 「3.3 請求締めを解除する」参照



3. 画面上部に、「● 更新しました」と表示され、新規の「売上伝票入力」画面に戻ります。

2.2.2.2 売上伝票を複写する

入力済の伝票を複写して利用します。 以前に受注した内容と同じ伝票を入力する場合に便利です。 請求書を出力した売上伝票(請求締済みの伝票)も複写できます。

- 1. 「売上伝票入力」画面で、複写する伝票を指定します。 ※伝票の指定方法は「2.2.2.1 売上伝票を訂正する」を参照してください。
- 2. [複写] ボタンをクリックします。



3. 確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



4. 複写された売上伝票が表示されます。日付などの項目を修正し、[登録] ボタンを クリックします。



5. 画面上部に、「! 登録しました」と表示され、新規の「売上伝票入力」画面に戻ります。 ※伝票番号は、新しい番号で登録されます。

2.2.2.3 売上伝票を削除する

- 1. 「売上伝票入力」画面で、削除したい伝票を指定します。 ※伝票の指定方法は「2.2.2.1 売上伝票を訂正する」を参照してください。
- 2. [削除] ボタンをクリックします。



注意

売上伝票が削除できない!

請求書を出力した売上伝票は、「請求締済み」の状態になり、削除できなくなります。削除したい場合は、「請求締解除処理」で請求書の締めを解除してから削除します。

→ 「3.3 請求締めを解除する」参照



3. 確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



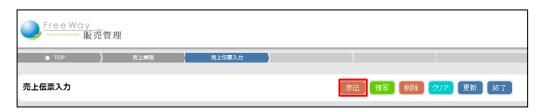
4. 画面上部に、「い削除しました」と表示され、新規の「売上伝票入力」画面に戻ります。

2.2.3 赤伝処理をする

売上がキャンセルになった場合や、伝票を削除せずに取り消した記録を残したい場合は、 赤伝処理をします。

請求書を出力した売上伝票(請求締済みの伝票)も赤伝処理ができます。

- 1. 「売上伝票入力」画面で、取り消したい伝票を指定します。 ※伝票の指定方法は「2.2.2.1 売上伝票を訂正する」を参照してください。
- 2. [赤伝] ボタンをクリックします。



3. 確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



4. 「赤伝」が表示され、数量欄と金額欄がマイナス表示になります。 訂正する項目がある場合は入力し、[登録] ボタンをクリックします。

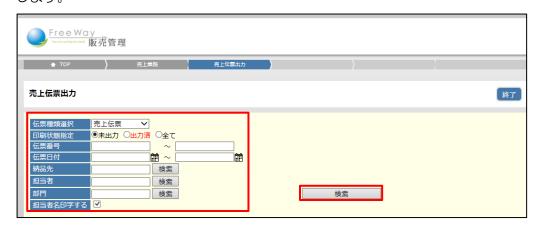


5. 画面上部に、「! 登録しました」と表示され、新規の「売上伝票入力」画面に戻ります。 ※伝票番号は、新しい番号で登録されます。

2.3 売上伝票を出力する

伝票の出力状況を確認します。また、伝票の種類を指定して印刷、または PDF で出力します。 未出力の伝票のみを抽出し、出力することもできます。

- 1. 「トップメニュー」>「売上業務」>「売上伝票出力」をクリックします。
- 2. 「売上伝票出力」画面が表示されます。 出力する伝票の条件を指定し [検索] ボタンをクリックします。 ここでは、例として伝票種類が「売上伝票」、印刷状態が「未出力」の伝票を検索 します。



「伝票種類選択」と「印刷状態指定」の組み合わせにより、伝票を検索します。 さらに、伝票番号・伝票日付・納品先・担当者を指定して絞り込み検索が行えます。

• 検索条件

項目	文字(桁)数	内容		
伝票種類選択	-	売上伝票・納品書・受領書・請求書・全て から選択します。 「全て」を選択した場合、得意先マスタの「都度請求」の設定により出 力される伝票の種類が変わります。 都度請求しない・・・3 伝票(売上伝票・受領書・納品書) 都度請求する ・・・4 伝票(売上伝票・受領書・納品書・請求書) ※通常の得意先は「都度請求しない」が設定されています。 ※伝票種類選択の「請求書」は、都度請求する得意先のみを対象に表示 します。		
印刷状態設定	-	末出力・出力済・全て から選択します。 未出力・・・・ 出力していない伝票番号を表示します。 伝票種類選択が「全て」の場合は、3 伝票(都度請求は4 伝票)のうちひとつでも未出力の 伝票番号を表示します。 出力済・・・・ 既に出力した伝票番号を表示します。 伝票種類選択が「全て」の場合は、3 伝票(都度請求は4 伝票)全てが出力されている伝票番号を表示します。 全て・・・・・ 全ての伝票番号を表示します。		
伝票番号	10 桁以内	登録済みの伝票番号を入力します。		
伝票日付	-	日付を手入力(形式「yyyy/mm/dd」)するか、カレンダーから選択します。		
納品先	14 桁以内	得意先コードを手入力するか、[検索] ボタンをクリックして「得意先 検索」画面から指定します。 ※あらかじめ「得意先マスタ」の登録が必要です。		

項目	文字(桁)数	内容
担当者	10 桁以内	手入力するか、[検索] ボタンをクリックして「担当者検索」画面から 指定します。
		※あらかじめ「自社担当者マスタ」の登録が必要です。
		手入力するか、[検索] ボタンをクリックして「部門検索」画面から指
部門	15 桁以内	定します。
		※あらかじめ「自社部門マスタ」の登録が必要です。
担当者名印字	Z -	得意先担当者名を印字する場合は、チェックボックスにチェックをつけ
担当有名の子 する		ます。
90		※あらかじめ「得意先マスタ」で「得意先担当者」の登録が必要です。

補足 得意先の宛名の印字について

指定方法によって以下のように変わります。受領書・納品書・売上伝票いずれも共通の仕様です。

得意先マスタの登録内容		「担当者名印字する」	に乗る印向は用
担当者敬称	得意先担当者	のチェック	伝票の印字結果
登録あり	登録あり	あり	得意先名+担当者名+ 担当者敬称
登録あり	登録あり	なし	
登録なし	登録あり	あり	
登録なし	登録あり	なし	
登録あり	登録なし	あり	得意先名+得意先敬称
登録あり	登録なし	なし	
登録なし	登録なし	あり	
登録なし	登録なし	なし	

- 3. 検索結果が表示されます。出力したい伝票の「選択」チェックボックスにチェックがついていることを確認し、[印刷] ボタン、または [PDF 出力] ボタンをクリックします。ここでは例として [印刷] ボタンをクリックします。
 - ※出力しない場合は「選択」チェックボックスのチェックをはずします。



補 足 ▶出力済の伝票について

- ・出力済みの伝票は、出力欄に「済」と表示されます。
- ・出力済の伝票も、再度出力できます。

4. ブラウザ上に印刷プレビューが表示され、印刷できます。
※印刷方法は、ブラウザや Adobe Reader のバージョンなどにより異なります。

| 110-0011 東京都台東区三ノ輪 ×××ビル 株式会社くまがい商会 営業所 熊谷〇夫 様 | PAGE 1 2022 年 12 月 01 日 No. 2022000007 162-0843 東京都新宿区市谷田町 ×××× ××ビル 株式会社フリーウェイジャパン商事 神奈川営業所 110-0011

5. 出力された伝票を確認します。

注意 ブラウザを閉じるときの注意

印刷プレビューを保存せずにブラウザを閉じた場合は、伝票は保存されません。 伝票を PDF ファイルとして残したい場合は、保存の操作をするか、[PDF 出力] ボタン から PDF ファイルを出力してください。

補足 [PDF 出力] ボタンをクリックした場合

- ・画面下部に表示される[ファイルを開く]、または[保存]ボタンをクリックします。PDF 出力の詳しい操作→ 「■基本操作 3.共通操作 ■帳票を PDF に出力する」参照
- ・伝票を複数選択した場合は、伝票番号ごとに PDF が作成されます。 (上記、手順3の例では、1つの ZIP ファイルに3つの PDF が作成されます)
- ・ 伝票種類選択が「全て」の場合は、伝票番号ごとに「売上伝票」「受領書」「納品書」 (都度請求の場合は、「請求書」も含む)が作成されます。

3. 請求書を締める

- 3.1 請求処理について
- 3.2 請求書を発行する
- 3.3 請求締めを解除する

3.1 請求処理について

締め請求の得意先に対し、請求日を指定して請求書を作成します。 請求書を作成すると、売上伝票は「請求締済み」の状態になり、金額が確定されます。 請求締済みの売上伝票を修正するには、「請求締解除処理」が必要です。

■ 締め請求の場合

売上伝票の修正は、請求書作成の前/後で作業手順が変わります。(下図、青字部分)



入金処理

- →「4.入金を入力する」参照
- 請求業務メニュー

「トップメニュー」から「請求業務」をクリックして起動します。



3.2 請求書を発行する(締め請求)

締年月日を指定して、締め請求の得意先に対する請求書を作成します。都度請求の得意先あて の請求書を発行する場合は、売上伝票出力のメニューから出力します。

→ 「2.3 売上伝票を出力する」参照

- 1. 「トップメニュー」>「請求業務」>「請求書作成」をクリックします。
- 2. 「請求書作成」画面が表示されます。必要な項目を入力または指定し、「検索」ボタンをクリックします。



項目	説明	
締年月日 作成する請求書の日付を手入力(形式「yyyy/mm/dd」)するか、カレら選択します。		
締日指定に準拠	得意先の締日指定に準拠するデータを検索する場合にチェックをつけます。 (例) 締年月日を2013/12/25 と指定 チェックをつけた場合 : 「得意先マスタ登録」の「締日指定」が25日の得意先と 指定なしの得意先が抽出されます。 チェックをはずした場合: 「得意先マスタ登録」の「締日指定」の有無に関係なく、 締年月日以前に取引のある得意先すべてが抽出されます。	
担当者名を印字する	得意先担当者名を印字する場合は、チェックボックスにチェックをつけます。 ※あらかじめ「得意先マスタ」で「得意先担当者」の登録が必要です。	
部門	請求書に「自社部門マスタ」で登録した部門名や部門住所を印刷したい場合に指定します。部門コードを手入力するか、[検索] ボタンをクリックして「部門検索」画面から指定します。 詳細は「1.3.6 各帳票での部門の指定と印刷について」を参照してください。	
支払期限	「基本情報登録」画面で登録した支払期限が表示されます。手入力する場合は「yyyy/mm/dd」の形式で入力します。	
伝票摘要	80 文字以内で備考情報を登録します。「ロ 摘要マスタに登録」にチェックをつけて請求書を出力すると、「伝票摘要」に入力されている文字が摘要マスタに登録されます。	

輔 足 ● 得意先の宛名の印字について

指定方法によって以下のように変わります。受領書・納品書・売上伝票いずれも共通の仕様です。

得意先マスタの登録内容		「担当者名印字する」	伝票の印字結果
担当者敬称	得意先担当者	のチェック	仏宗の中子和未
登録あり	登録あり	あり	得意先名+担当者名+ 担当者敬称
登録あり	登録あり	なし	
登録なし	登録あり	あり	
登録なし	登録あり	なし	
登録あり	登録なし	あり	得意先名+得意先敬称
登録あり	登録なし	なし	
登録なし	登録なし	あり	
登録なし	登録なし	なし	

3. 請求書未作成の得意先が一覧表示されます。出力する得意先の「対象」チェックボックスにチェックがついていることを確認し、[PDF 出力] ボタンをクリックします。 ※出力しない場合は「対象」チェックボックスのチェックをはずします。



4. 画面下部に表示される [ファイルを開く]、または [保存] ボタンをクリックします。 PDF 出力の詳しい操作→ 「■基本操作 3.共通操作 ■帳票を PDF に出力する」参照

5. 出力された請求書を確認します。



請求書の見かた

項目	説明
(a)請求書タイトル	「基本情報登録」画面で登録した請求書タイトルが表示されます。何も指定 してない場合は「請求書」と表示されます。
(b) 会社名/部門名	会社名(部門を指定した場合は部門名)が表示されます。(
(c) 適格請求書発行 事業者登録番号	「基本情報登録」画面で登録した適格請求書発行事業者登録番号が表示され ます。
(d)□座情報	「基本情報登録」画面で登録した口座情報が表示されます。
(e)支払期限情報	支払期限が表示されます。
(f)請求書備考	請求書備考が表示されます。
()	基本情報登録の「印鑑印刷」を印刷する設定にしている場合に表示されます。
(g)電子印鑑	→ 「1.2.2 基本情報登録の入力項目について■初期設定」参照
(h)前回御請求額	前回の請求金額を表示します。
(i)御入金額	前回請求締後から今回請求締までの間の入金額を表示します。
(j)繰越金額	(i)ー(h)の金額を表示します。
(k)今回御買上額	今回の請求締までの売上額を表示します。
(I)消費税	消費税額を表示します。
(m)御買上合計	(k)+(l)の金額を表示します。
(n)今回御請求額	(j)+(m)の金額を表示します。
(o)請求一覧	前回請求締後から今回請求締までの間の注文や入金を一覧表示します。
(p)備考	一行目には、売上入力画面で指定した部門を表します。二行目には、その商品 の備考に入力した文字を表示します。

3.2.1 請求書を再出力する

一度作成した請求書を、再度出力する操作について説明します。このメニューで再出力できるのは、請求方法が「締め請求」の得意先の請求書です。請求方法が「都度請求」の得意先に対する請求書は、売上伝票出力メニューから再出力します。

→ 「2.3 売上伝票を出力する」参照

- 1. 「トップメニュー」>「請求業務」>「請求書再出力」をクリックします。
- 2. 「請求書再出力」画面が表示されます。検索条件を指定後、担当者名印字の有無を指定し、「検索」ボタンをクリックします。



補足 カレンダーの表示について

請求書を発行した日は、ピンクの表示です。



- 3. 該当する請求書が一覧表示されます。再出力する請求書の「選択」チェックボックスに チェックがついていることを確認し、[印刷] ボタンをクリックします。
 - ※出力しない場合は「選択」チェックボックスのチェックをはずします。



補足 [印刷] ボタンについて

[印刷] ボタンをクリックすると請求書がブラウザ上に PDF で表示され、そのまま印刷できます。複数の請求書を再出力する場合も一括で印刷できます。

3.3 請求締めを解除する

請求書を出力すると、売上伝票と入金伝票は「請求締済み」の状態になり、訂正や削除ができなくなります。伝票の訂正や、請求書を取り消したい場合には、「請求締解除処理」を実施します。

都度請求の得意先も、この画面から解除できます。

- 1. 「トップメニュー」>「請求業務」>「請求締解除処理」をクリックします。
- 2. 「請求締解除処理」画面が表示されます。検索条件を入力して [検索] ボタンをクリックします。



補足 検索方法について

締年月日・・・日付を手入力するか、カレンダーのアイコンをクリックして日付を選択します。空欄の状態で検索すると、すべての請求締め済みの請求書が表示されます。

得意先・・・得意先コードを指定します。空欄の状態で検索すると、すべての請求締め 済みの請求書が表示されます。

橘足▶ 検索しても請求締済の請求書が表示されない場合

「入金業務」>「入金入力」から該当の請求書に対して「請求書紐付」をしている場合、 検索結果に表示されません。先に「入金入力」から入金伝票への請求書紐付を解除して から、請求締解除処理をしなおしてください。

3. 該当する請求書が一覧表示されます。請求書の「対象」チェックボックスに チェックをつけて、[解除] ボタンをクリックします。



4. 確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



5. 画面上部に、「! 締解除処理を実施しました」と表示され、新規の「請求締解除処理」 画面に戻ります。

| 補足 | 請求締めが解除される請求書の範囲について

請求締め解除処理をすると、その請求書より後の日付で請求締め済みの請求書も同時に 請求締めが解除されます。請求締めを解除した後は、請求の日付が古い請求書から順に 請求書を出力しなおします。

補足 ワンポイント

売上伝票を訂正したい場合は、請求締解除後、売上伝票の訂正をしてから改めて請求書 を発行しなおします。

4. 入金を入力する

- 4.1 入金処理について
- 4.2 入金を入力する
- 4.3 入金実績一覧表を出力する
- 4.4 領収書を出力する

4.1 入金処理について

請求先からの入金内容を管理します。



■ 入金業務メニュー

「トップメニュー」から「入金業務」をクリックします。

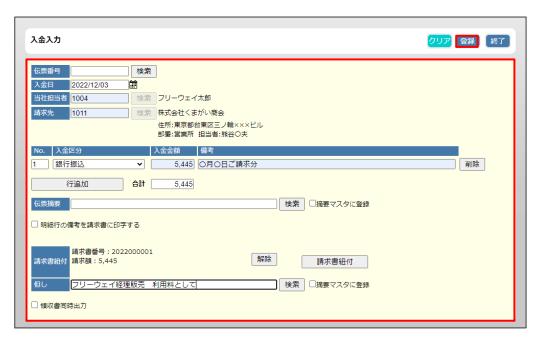


4.2 入金を入力する

請求先からの売掛金の回収内容を登録します。

また、領収書を出力する際は入金入力時に「請求書紐付け」の操作が必須となります。

- 1. 「トップメニュー」>「入金業務」>「入金入力」をクリックします。
- 2. 「入金入力」 画面が表示されます。 各項目を入力し、 [登録] ボタンをクリックします。



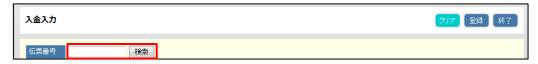
項E]	文字(桁)数	内容	
伝票番号 10 桁以内		10 桁以内	「基本情報登録」画面で「伝票付番方法」を「自動発行」に設定している場合は入力不要です。登録後に伝票番号が自動で付与されます。 ※自動発行の設定をしていても、伝票番号を手入力した場合は、その番号で登録されます。	
入金	i 🖯	-	日付を手入力(形式「yyyy/mm/dd」)するか、カレンダーから選択します。	
当社担当者 10 桁以内		10 桁以内	担当者コードを手入力するか、[検索] ボタンをクリックして「担当者検索」画面から指定します。 ※あらかじめ「自社担当者マスタ」の登録が必要です。	
請求先 14 村		14 桁以内	得意先コードを手入力するか、[検索] ボタンをクリックして「得意 先検索」画面から指定します。	
	No.	-	自動で表示されます。	
	入金区分	-	入金区分を選択します。 ※あらかじめ「入金区分マスタ」の登録が必要です。	
明細	入金金額	9 桁以内	金額を入力します。返金する場合は、金額の前にマイナス(半角)の行号を入力します。	
7.00	備考	40 文字以内	備考情報を登録します。入力した文字は、請求書の入金明細の備考欄 に表示されます。	
	[行追加] ボタン	-	明細行を追加します。	
伝票摘要 40 文字以		40 文字以内	伝票の備考を入力します。入力した内容は、「伝票番号検索」画面の「摘要」に表示されます。「ロ 摘要マスタに登録」にチェックを入れた状態で伝票を登録すると、摘要マスタに登録されます。	

項目	文字(桁)数	内容
		伝票番号
□ 明細行の備 考を請求書に印 字する	-	チェックを付けて登録すると、入金明細行の「備考」に入力した文字が請求書の備考に印字されます。
請求書紐付		「請求書紐付」をクリックすると、過去に登録した請求書の一覧が表示されます。 ※紐付けができるのは、入金額と同額の請求書 1 枚のみです。
但し		但し書きを入力します。入力した文字は領収書の但し欄に表示されます。
領収書同時出力	_	入金入力と領収書出力を同時に行う際に、チェックをつけます。

3. 画面上部に、「1 登録しました」と表示され、新規の「入金入力」画面に戻ります。

4.2.1 入金を訂正・削除する

- 入金を訂正する
- 1. 「入金入力」画面で、訂正したい伝票を指定します。
 - 伝票番号がわかる場合 「伝票番号」を入力して [検索] ボタンをクリックします。

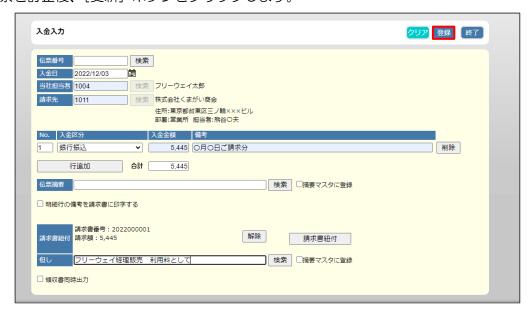


• 伝票番号がわからない場合

伝票番号は空欄のまま [検索] ボタンをクリックします。「伝票番号検索」画面を表示し、条件を指定して [検索] をクリックし、訂正したい伝票番号をクリックします。



2. 伝票を訂正後、[更新] ボタンをクリックします。



注意 入金伝票が訂正できない!

請求書を出力した入金伝票は、「請求締済み」の状態になり、訂正できなくなります。訂 正したい場合は、「請求締解除処理」で請求書の締めを解除してから訂正します。

→ 「3.3 請求締めを解除する」参照

3. 画面上部に、「1 更新しました」と表示され、新規の「入金入力」画面に戻ります。

■ 入金を削除する

- 1. 「入金入力」画面で、削除したい伝票を指定します。
 - 伝票番号がわかる場合 「伝票番号」を入力して「検索」ボタンをクリックします。



伝票番号がわからない場合

伝票番号は空欄のまま [検索] ボタンをクリックします。「伝票番号検索」画面を表示し、条件を指定して [検索] をクリックし、訂正したい伝票番号をクリックします。



2. [削除] ボタンをクリックします。



注意 入金伝票が削除できない!

請求書を出力した入金伝票は、「請求締済み」の状態になり、削除できなくなります。削除したい場合は、「請求締解除処理」で請求書の締めを解除してから削除します。

→ 「3.3 請求締めを解除する」参照

- 3. 確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
- 4. 画面上部に、「🛂 削除しました」と表示され、新規の「入金入力」画面に戻ります。

4.3 入金実績一覧表を出力する

入金入力処理の内容を、一覧表に出力します。特定の得意先や期間を指定して、入金の実績を確認できます。

- 1. 「トップメニュー」>「入金業務」>「入金実績一覧表」をクリックします。
- 2. 「入金実績一覧表」画面が表示されます。出力する範囲を指定します。
 - (1) 「得意先 from」(または「得意先 to」)に得意先コードを入力します。 ※ [検索] ボタンをクリックし、「得意先検索」画面からも指定できます。
 - (2) 「年月日 from」と「年月日 to」に日付を入力します。 ※日付はカレンダーからも指定できます。



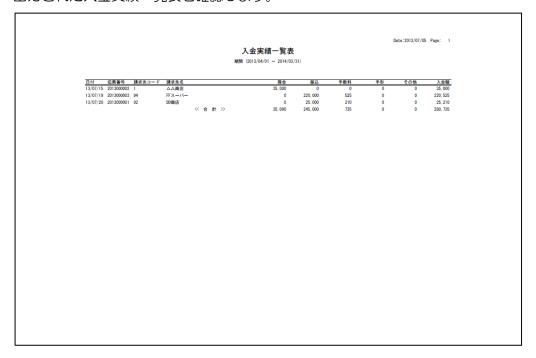
補足 ワンポイント

- ・ 得意先を指定しない場合は、全得意先が検索されます。
- 年月日を指定しない場合は、年度開始日(期首日)から期末日までのデータが検索 されます。
- 3. [CSV 出力] もしくは [PDF 出力] のボタンをクリックします。



4. 画面下部に表示される [ファイルを開く]、または [保存] ボタンをクリックします。 PDF 出力の詳しい操作→ 「■基本操作 3.共通操作 ■帳票を PDF に出力する」参照

5. 出力された入金実績一覧表を確認します。



4.4 領収書を出力する

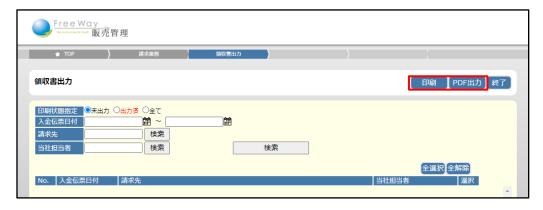
入金伝票に請求書紐付けをした場合、領収書を出力できます。

- 1. 「トップメニュー」>「入金業務」>「領収書出力」をクリックします。
- 2. 「領収書出力」画面が表示されます。出力する範囲を指定します。
 - (1) 印刷状況指定を「未出力」「出力済」「全て」のうちいずれかを選択します。
 - (2) 入金伝票日付を指定します。
 - (3) 請求先に得意先コードを入力するか、[検索] ボタンをクリックして、「得意先検索」画面から指定します。
 - (4) 当社担当者に担当コードを入力するか、[検索] ボタンをクリックして、「担当者検索」から指定します。



補足 ワンポイント

- ・得意先を指定しない場合は、全得意先が検索されます。
- 年月日を指定しない場合は、年度開始日(期首日)から期末日までのデータが検索 されます。
- 3. [印刷] もしくは [PDF 出力] をクリックします。



4. 出力された領収書を確認します。



5. 得意先との取引状況を 確認する

- 5.1 得意先との取引状況の確認について
- 5.2 得意先元帳を出力する
- 5.3 売掛残高一覧表を出力する

5.1 得意先との取引状況の確認について

得意先との取引状況の確認のため、以下の帳票を出力します。

■ 帳票の種類

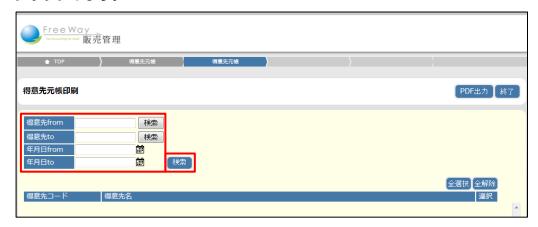
- 得意先元帳・・・・・得意先別に売掛金に関する取引を管理します。
- 売掛残高一覧表・・・売掛残高を一覧形式で出力します。未入金の売上がある場合に 出力されます。
- 得意先元帳メニュー 「トップメニュー」から「得意先元帳」をクリックして起動します。



5.2 得意先元帳を出力する

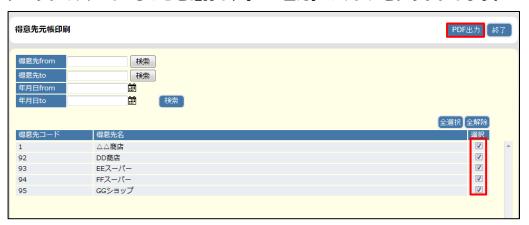
得意先別に売掛金に関する取引を管理する「得意先元帳」を出力します。

- 1. 「トップメニュー」>「得意先元帳」>「得意先元帳」をクリックします。
- 2. 「得意先元帳」画面が表示されます。出力する範囲を指定し、「検索」ボタンをクリックします。



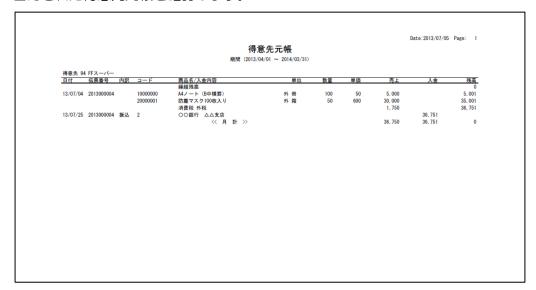
補足・ワンポイント

- ・得意先を指定しない場合は、全得意先が検索されます。
- 年月日を指定しない場合は、年度開始日(期首日)から期末日までのデータが検索 されます。
- 3. 検索結果が一覧表示されます。出力する得意先の「選択」チェックボックスに チェックが入っていることを確認し、[PDF 出力] のボタンをクリックします。



4. 画面下部に表示される [ファイルを開く]、または [保存] ボタンをクリックします。
PDF 出力の詳しい操作→ 「■基本操作 3.共通操作 ■帳票を PDF に出力する」参照

5. 出力された得意先元帳を確認します。



補足 作成される PDF のファイル数

・得意先を複数選択した場合は、得意先ごとに PDF が作成されます。

5.3 売掛残高一覧表を出力する

売掛残高を一覧形式で出力します。未入金の売上がある場合に出力されます。

- 1. 「トップメニュー」>「得意先元帳」>「売掛残高一覧表」をクリックします。
- 2. 「売掛残高一覧表」画面が表示されます。出力する範囲を指定し、[CSV 出力] もしくは [PDF 出力] ボタンをクリックします。

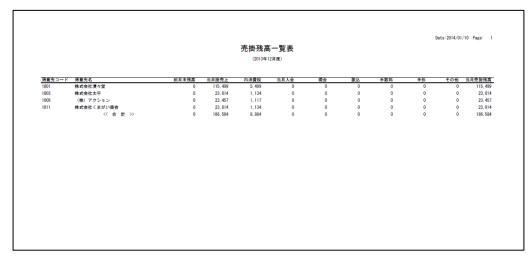


補足 売掛残高が 0 の得意先を出力するには

「口 売掛残高が 0 の得意先も出力する」のチェックボックスにチェックを付けて [CSV 出力] もしくは [PDF 出力] をクリックします。

補足・ワンポイント

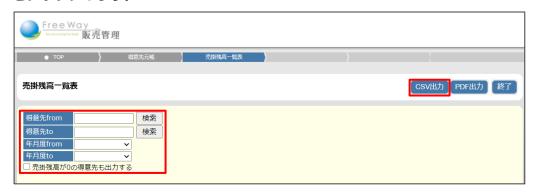
- ・得意先を指定しない場合は、全得意先が検索されます。
- 年月度を指定しない場合は、年度開始日(期首日)から期末日までのデータが 検索されます。
- 3. 画面下部に表示される [ファイルを開く]、または [保存] ボタンをクリックします。
 PDF 出力の詳しい操作→ 「■基本操作 3.共通操作 ■帳票を PDF に出力する」参照
- 4. 出力された売掛残高一覧表を確認します。



補足 ワンポイント

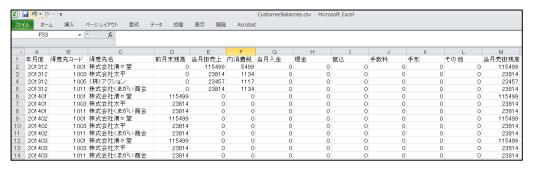
・指定した範囲内に該当するデータがない場合は、メッセージ「!条件に一致するデータ はありません」と表示され、PDF は出力されません。

- CSV ファイルに出力する
- 1. 「トップメニュー」>「得意先元帳」>「売掛残高一覧表」をクリックします。
- 2. 「売掛残高一覧表」画面が表示されます。出力する範囲を指定し、[CSV 出力] ボタンをクリックします。



補足 ワンポイント

- ・得意先を指定しない場合は、全得意先が検索されます。
- 年月日を指定しない場合は、年度開始日(期首日)から期末日までのデータが検索 されます。
- 3. 画面下部に表示される [ファイルを開く]、または [保存] ボタンをクリックします。
- 4. CSV ファイルが出力されます。



6. 売上の状況を確認する

- 6.1 売上状況の確認について
- 6.2 売上明細表を出力する
- 6.3 売上日報を出力する
- 6.4 売上月報を出力する

6.1 売上状況の確認について

売上状況の確認のため、以下の帳票を出力します。

■ 帳票の種類

- 売上明細表・・・・集計単位別(得意先別・商品別・担当者別・日別・部門別)に、 売上明細書を出力します。
- 売上日報・・・・集計単位別(得意先別・商品別・担当者別・商品大分類別)に、 売上日報を出力します。
- 売上月報・・・・集計単位別(得意先別・商品別・担当者別・商品大分類別)に、 売上月報を出力します。
- 売上レポートメニュー 「トップメニュー」から「売上レポート」をクリックして起動します。



6.2 売上明細表を出力する

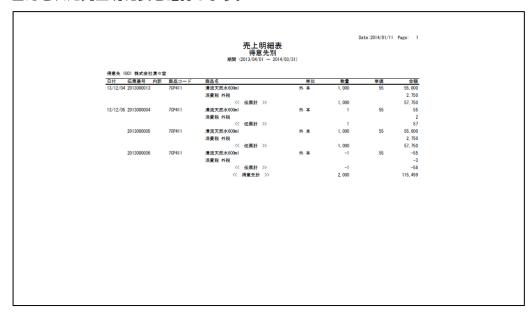
集計単位別(得意先別・商品別・担当者別・日別・部門別)に、売上明細書を出力します。

- 1. 「トップメニュー」>「売上レポート」>「売上明細表」をクリックします。
- 2. 「売上明細表」画面が表示されます。出力したい集計単位のタブをクリックします。 ここでは、例として「得意先別」タブを選択します。
- 3. 出力する範囲を指定し、[CSV 出力] または [PDF 出力] ボタンをクリックします。

出力範囲の指定について→ 「■集計単位別―範囲指定」参照



- 4. 画面下部に表示される [ファイルを開く]、または [保存] ボタンをクリックします。
 PDF 出力の詳しい操作→ 「■基本操作 3.共通操作 ■帳票を PDF に出力する」参照
- 5. 出力された売上明細表を確認します。



補足 ワンポイント

「得意先マスタ登録」の「税処理」が「外税/請求時」の得意先は、消費税を含めない額で表示されます。

■税処理が「外税/伝票計」の場合



「消費税 外税」が表示されます。 ≪伝票計≫に消費税が含まれます。

■税処理が「外税/請求計」の場合



「消費税 外税」は表示されません。 ≪伝票計≫に消費税が含まれません。

■ 集計単位別―範囲指定

タブ	範囲指定	入力画面
得意先別	得意先 from — 得意先 to 年月日 from — 年月日 to ※	得意先from 検索 得意先to 検索 年月日from 無 年月日 to 無
商品別	商品 from — 商品 to 年月日 from — 年月日 to ※	商品from 検索 商品to 年月日from 年月日 to (検索)
担当者別	担当者 from — 担当者 to 年月日 from — 年月日 to ※	担当者from 検索 担当者 to 検索 年月日 from ## 年月日 to ##
日別	年月日 from — 年月日 to	年月日from ## 年月日 to ## (「売上明細表」でタブが表示されます。)
部門別	部門 from — 部門 to 年月日 from — 年月日 to ※	部門from 検索 部門to 検索 年月日from # 年月日 to # (「売上明細表」で夕ブが表示されます。)
商品大分類別	商品大分類 from — 商品大分類 to 有品大分類 to 年月日 from — 年月日 to ※	商品大分類from 検索 商品大分類to 検索 年月日from ## 年月日to ## (「売上日報」と「売上月報」でタブが表示されます。)

※「売上月報」では、項目名が年月度 from — 年月度 to に置き換わります。

補足 ワンポイント

抽出条件が空欄の場合は、年度開始日(期首日)から期末日に該当する全項目が出力対象です。

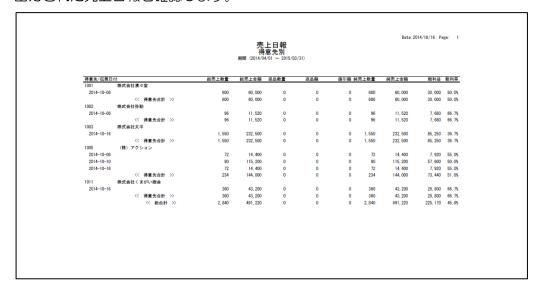
6.3 売上日報を出力する

集計単位別(得意先別・商品別・担当者別・商品大分類別)に、売上日報を出力します。

- 1. 「トップメニュー」>「売上レポート」>「売上日報」をクリックします。
- 2. 「売上日報」画面が表示されます。出力したい集計単位のタブをクリックします。 ここでは、例として「得意先別」タブを選択します。
- 3. 出力する範囲を指定し、[CSV 出力] または [PDF 出力] ボタンをクリックします。 出力範囲の指定について→ 「6.1 売上明細表を出力する ■集計単位別―範囲指定」参照



- 4. 画面下部に表示される [ファイルを開く]、または [保存] ボタンをクリックします。
 PDF 出力の詳しい操作→ 「■基本操作 3.共通操作 ■帳票を PDF に出力する」参照
- 5. 出力された売上日報を確認します。



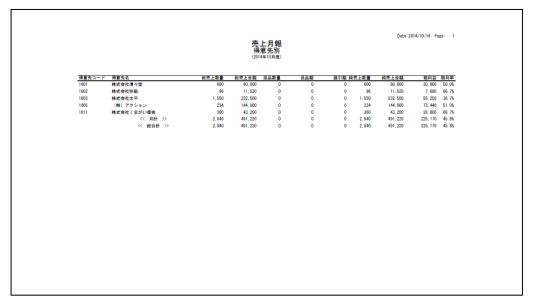
6.4 売上月報を出力する

集計単位別(得意先別・商品別・担当者別・商品大分類別)に、売上月報を出力します。

- 1. 「トップメニュー」>「売上レポート」>「売上月報」をクリックします。
- 2. 「売上月報」画面が表示されます。出力したい集計単位のタブをクリックします。 ここでは、例として「得意先別」タブを選択します。
- 3. 出力する範囲を指定し、[CSV 出力] または [PDF 出力] ボタンをクリックします。出力範囲の指定について→ 「6.1 売上明細表を出力する ■集計単位別―範囲指定」参照



- 4. 画面下部に表示される [ファイルを開く]、または [保存] ボタンをクリックします。
 PDF 出力の詳しい操作→ 「■基本操作 3.共通操作 ■帳票を PDF に出力する」参照
- 5. 出力された売上月報を確認します。



7. 売上の分析をする

- 7.1 分析レポートについて
- 7.2 売上推移表を出力する
- 7.3 売上順位表を出力する
- 7.4 売上伸び率順位表を出力する
- 7.5 売上分析表を出力する

7.1 分析レポートについて

売上実績を元に分析レポートを作成できます。売上の傾向や実績の上下など、多角的な分析が 行えます。※分析結果は、税抜金額で計算されます。

■ 分析レポートの種類

以下の4つのレポートを出力できます。

- 売上推移表・・・・・・月ごとの売上実績の一覧と昨年対比を表示します。
- 売上順位表・・・・・・売上の順位と構成比を表示します。
- 売上伸び率順位表・・・前年度と比較した売上の増加分と伸び率を表示します。
- 売上分析表・・・・・・純売上金額・構成比・純売上数量・粗利益・粗利率を 集計し、表示します。

■ 分析レポートメニュー

「トップメニュー」から「分析レポート」をクリックして起動します。



7.2 売上推移表を出力する

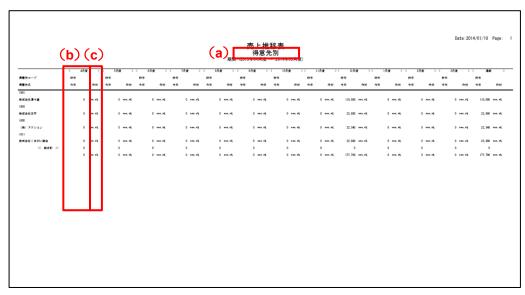
集計単位別(得意先別・商品別・担当者別・商品大分類別)に、売上推移表を出力します。

- 1. 「トップメニュー」>「分析レポート」>「売上推移表」をクリックします。
- 2. 「売上推移表」画面が表示されます。出力したい集計単位のタブをクリックします。 ここでは、例として「得意先別」タブを選択します。
- 3. 出力する範囲を指定し、[CSV 出力] もしくは [PDF 出力] ボタンをクリックします。

出力範囲の指定について→ 「■集計単位別一範囲指定」参照



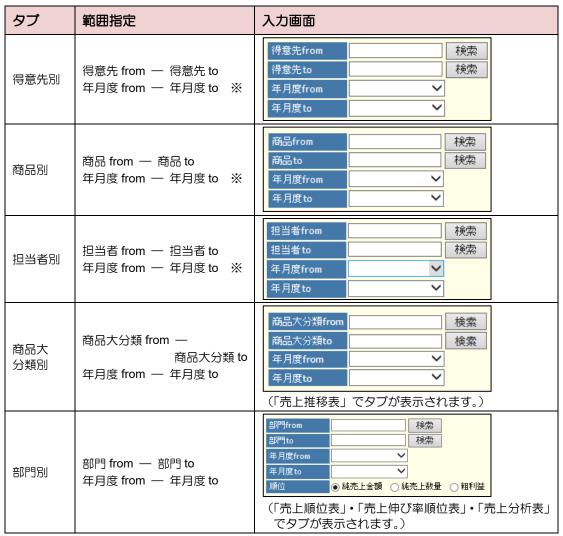
- 4. 画面下部に表示される [ファイルを開く]、または [保存] ボタンをクリックします。
 PDF 出力の詳しい操作→ 「■基本操作 3.共通操作 ■帳票を PDF に出力する」参照
- 5. 出力された売上推移表を確認します。



売上推移表の見かた

項目	説明
(a)集計単位	集計単位(得意先別・商品別・担当者別・商品大分類別)が表示されます。
(b) 昨年/今年	売上集計値が表示されます。
(c) 作対	昨年対比が表示されます。

■ 集計単位別―範囲指定



^{※「}売上分析表」では、項目名が年月日 from — 年月日 to に置き換わります。

補足・ワンポイント

• 抽出条件が空欄の場合は、年度開始日(期首日)から期末日に該当する全項目が出力対象です。

7.3 売上順位表を出力する

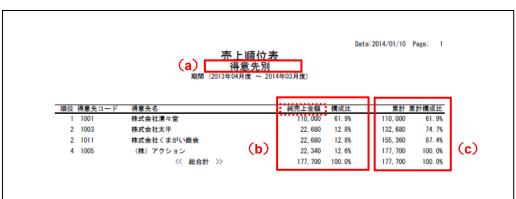
集計単位別(得意先別・商品別・担当者別・部門別)に、売上順位表を出力します。 また、順位は純売上金額・純売上数量・粗利益から選択します。

- 1. 「トップメニュー」>「分析レポート」>「売上順位表」をクリックします。
- 2. 「売上順位表」画面が表示されます。出力したい集計単位のタブをクリックします。 ここでは、例として「得意先別」タブを選択します。
- 3. 出力する範囲と順位(純売上金額、純売上数量、粗利益)を指定し、 [CSV 出力] または [PDF 出力] ボタンをクリックします。

出力範囲の指定について→ 「7.2 売上推移表を出力する ■集計単位別一範囲指定」参照



- 4. 画面下部に表示される [ファイルを開く]、または [保存] ボタンをクリックします。
 PDF 出力の詳しい操作→ 「■基本操作 3.共通操作 ■帳票を PDF に出力する」参照
- 5. 出力された売上順位表を確認します。



売上順位表の見かた

項目	説明
(a)集計単位	集計単位(得意先別・商品別・担当者別・部門別)が表示されます。
(b)順位/構成比	指定した順位(純売上金額・純売上数量・粗利益)の集計値と構成比が表示 されます。(例では、純売上金額の集計値を表示)
(c)累計/累計構成比	累計の集計値と構成比が表示されます。

7.4 売上伸び率順位表を出力する

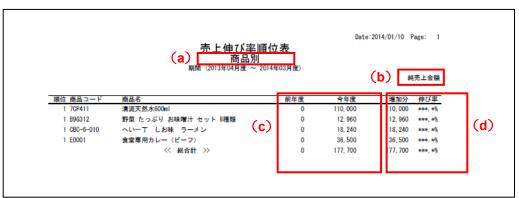
集計単位別(得意先別・商品別・担当者別・部門別)に、売上伸び率順位表を出力します。 また、順位は純売上金額・純売上数量・粗利益から選択します。

- 1. 「トップメニュー」>「分析レポート」>「売上伸び率順位表」をクリックします。
- 2. 「売上伸び率順位表」画面が表示されます。出力したい集計単位のタブをクリックします。ここでは、例として「商品別」タブを選択します。
- 3. 出力する範囲と順位(純売上金額、純売上数量、粗利益)を指定し、 [CSV 出力] もしくは [PDF 出力] ボタンをクリックします。

出力範囲の指定について→ 「7.2 売上推移表を出力する ■集計単位別一範囲指定」参照



- 4. 画面下部に表示される [ファイルを開く]、または [保存] ボタンをクリックします。
 PDF 出力の詳しい操作→ 「■基本操作 3.共通操作 ■帳票を PDF に出力する」参照
- 5. 出力された売上伸び率順位表を確認します。



売上伸び率順位表の見かた

項目	説明
(a)集計単位	集計単位(得意先別・商品別・担当者別・部門別)が表示されます。
(b)順位	指定した順位(純売上金額・純売上数量・粗利益)が表示されます。
(c) 前年度/今年度	(b)順位の集計値が表示されます。(例では、純売上金額の集計値を表示)
(d) 増加分/伸び率	前年度と比較した増加分と伸び率が表示されます。

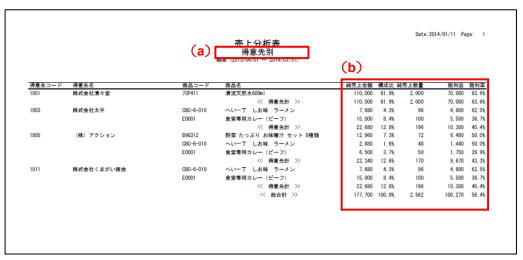
7.5 売上分析表を出力する

集計単位別(得意先別・商品別・担当者別・部門別)に、売上分析表を出力します。

- 1. 「トップメニュー」>「分析レポート」>「売上分析表」をクリックします。
- 2. 「売上分析表」画面が表示されます。出力したい集計単位のタブをクリックします。 ここでは、例として「得意先別」タブを選択します。
- 3. 出力する範囲を指定し、[CSV 出力] または [PDF 出力] ボタンをクリックします。 出力範囲の指定について→ 「7.2 売上推移表を出力する ■集計単位別―範囲指定」参照



- 4. 画面下部に表示される [ファイルを開く]、または [保存] ボタンをクリックします。
 PDF 出力の詳しい操作→ 「■基本操作 3.共通操作 ■帳票を PDF に出力する」参照
- 5. 出力された売上順位表を確認します。



売上分析表の見かた

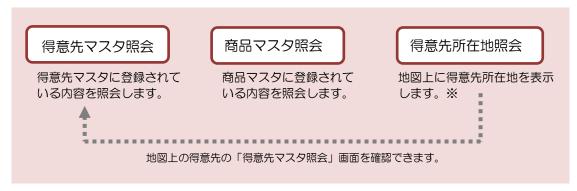
項目	説明
(a)集計単位	集計単位(得意先別・商品別・担当者別・部門別)が表示されます。
(b) 集計値	集計値(純売上金額・構成比・純売上数量・粗利益・粗利率)が表示されます。

8. 各種データを照会する

- 8.1 各種データの照会について
- 8.2 得意先マスタを照会する
- 8.3 商品マスタを照会する
- 8.4 得意先所在地を照会する

8.1 各種データの照会について

登録されている各種データを照会します。また、スマートフォンや iPad などのタブレット端末を利用し、外出先で得意先所在地の照会なども行えます。



※「得意先所在地照会」は、GPS が搭載されているスマートフォンや iPad などのタブレット端末のみ利用可能です。

■ 照会業務メニュー

「トップメニュー」から「照会業務」をクリックして起動します。



8.2 得意先マスタを照会する

得意先マスタに登録されている内容を照会します。

- 1. 「トップメニュー」>「照会業務」>「得意先マスタ照会」をクリックします。
- 2. 「得意先マスタ照会」画面が表示されます。得意先コードを入力するか、 [検索] ボタンをクリックし、「得意先検索」画面で検索して指定します。



3. 得意先マスタの情報が表示されます。



補足 ワンポイント

得意先マスタに登録されている、よく使う項目を中心に表示しています。 全項目を確認したい場合は、得意先マスタを参照してください。

8.3 商品マスタを照会する

商品マスタに登録されている内容を照会します。

- 1. 「トップメニュー」>「照会業務」>「商品マスタ照会」をクリックします。
- 2. 「商品マスタ照会」画面が表示されます。商品コードを入力するか、 [検索] ボタンをクリックし、「商品検索」画面で検索して指定します。



3. 商品マスタの情報が表示されます。



8.4 得意先所在地を照会する

スマートフォンや iPad などのタブレット端末では、得意先所在地の照会ができます。 得意先マスタの「緯度経度」をもとに、地図上に得意先所在地を表示します。

注意

「得意先所在地照会」メニューが表示されない!

GPS が搭載されているスマートフォンや iPad などのタブレット端末で利用できます。 PC ではメニューが表示されません。

ここでは、iPad の画面を例に説明します。

- 現在地と近隣の得意先を確認する
- 1. 「トップメニュー」>「照会業務」>「得意先所在地照会」をタップします。



2. GPS機能により、現在地が表示されます。

現在地から近い位置に得意先がある場合は、得意先も表示されます。

※現在地を表示するには、GPS の機能をオンにしておく必要があります。



3. 「戻る」をタップして、メニュー画面に戻ります。

- 得意先の位置を確認する
- 1. 「得意先所在地照会」画面で、「得意先選択」をタップし、一覧から得意先を指定します。(得意先は50音順で表示されます)



| 補足 | 「得意先選択」に得意先が表示されない場合

「得意先マスタ登録」に「緯度経度」が設定されていないと表示されません。 あらかじめ設定してください。

緯度経度の設定について→ 「1.7.2 得意先マスタの入力項目について」参照



2. 得意先の周辺地図が表示されます。



補足・ワンポイント

地図上の得意先名をタップすると、「得意先マスタ照会」画面が開き、得意先情報を確認できます。



9. その他

- 9.1 会計データと連携する
- 9.2 年次を繰り越す
- 9.3 ログインユーザを管理する

9.1 会計データと連携する

「フリーウェイ経理」に、売上入金実績を取り込むための CSV ファイルを出力します。

- 1. 「トップメニュー」>「他システム連携」>「会計データ出力」をクリックします。
- 2. 「会計データ出力」画面が表示されます。 出力する範囲と条件を指定し、[CSV 出力] ボタンをクリックします。



項目	内容		
得意先 from • 得意先 to	得意先コードを指定します。 [検索]ボタンをクリックし、検索画面で検索もできます。 指定がない場合は、全得意先が出力対象です。		
年月度指定	年度開始日(期首日)から期末日までを年月単位で指定します。		
集計区分	 伝票単位・請求単位 から選択します。 ■伝票単位(請求締済データ) 伝票ごとに消費税計算をする場合に選択します。請求締済データが対象です。 ■請求単位 請求書ごとに消費税計算をする場合に選択します。 税処理が「外税/請求時」と「内税/請求時」の得意先は、集計区分を「伝票単位」としても、請求単位に出力されます。 ■伝票単位(全データ) 伝票ごとに消費税計算をする場合に選択します。全データが対象です。 		

3. 画面下部に表示される [ファイルを開く]、または [保存] ボタンをクリックします。

注意 CSV の出力対象から除外された!

- ・集計区分が「伝票単位(請求締済データ)」と「請求単位」の場合 指定した年月度の中に、未請求の売上伝票がある場合、その得意先は CSV の出力 対象となりません。あらかじめ請求書の発行を完了しておく必要があります。 請求書の発行方法は「3.2 請求書を発行する」を参照してください。
- ・集計区分が「伝票単位(全データ)」の場合 「外税/請求時」「内税/請求時」の得意先データは出力されません。

■ 出力される CSV ファイル



• CSV の見かた

項目	説明					
(a)集計区分	集計区分を「伝票単位」にした場合は 1、「請求単位」にした場合は 2 が表示 されます。					
(b) 対応コード	各コードの科目は以下の通りでであります。 ・販売に関する科目 対応コード 科目 4000 売上 8000 返品 7000 値引き		.	入金に関する 対応コード 1000 2000 9000 3000		
(c)入金区分マスタ	対応コードの中で入金に関する科目に該当するものは、「入金区分マスタ登録」に設定されているコードと区分名が表示されます。 A金区分マスタ登録					

■ 【フリーウェイ経理】での CSV 取り込み方法

出力した CSV データは、【フリーウェイ経理】の「ユーティリティ」>「606 販売管理 データ取り込み」から取り込みます。

詳細は、「フリーウェイ経理 操作マニュアル」をご覧ください。

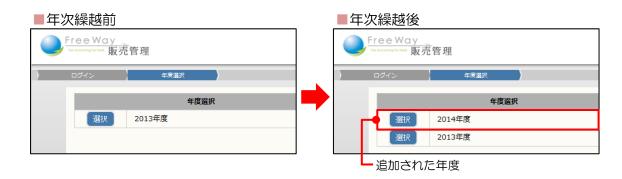
※フリーウェイ経理は無料で使える会計ソフト(別システム)です。

フリーウェイ経理について→ 「http://freeway-keiri.com/」参照

9.2 年次を繰り越す

年度が変わり、新年度のデータを入力するためには年次繰越処理を行います。 繰越処理を行うと「年度選択」画面に年度が追加されます。

※「年度選択」画面で選択ができるのは7年分までです。



|注意 | 年次繰越の注意事項

- ・一度、年次繰越を行うと取り消すことはできません。
- 年次繰越では、次年度のマスタデータを自動作成し、「得意先マスタ登録」の 「期首売掛残高」を設定します。
- 年次繰越後に、入金処理を行い売掛残高に変更が生じた場合は、再度「年次処理」 から「売掛残高のみ繰越」を実行して新年度の期首売掛残高を更新しなおします。
 - 年次繰越後に、マスタを修正や追加した場合は、再度「年次処理」から「売掛残 高とマスタを繰越」を実行して、マスタを新年度に反映させます。
- 「トップメニュー」>「年次繰越」>「年次繰越」をクリックします。 1.
- 「年次繰越処理」画面が表示されます。注意事項を確認し「実行] ボタンをクリックし 2. ます。



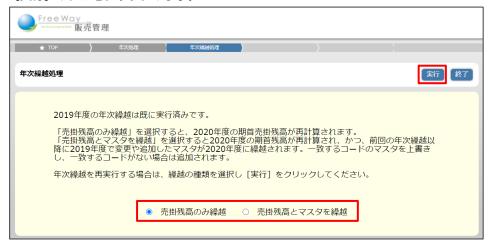
3. 確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。



4. 年次繰越処理が実行され、トップメニューに戻ります。

補足を年次繰越処理を再実行する場合

年次繰越済みの年度で、「年次繰越処理」画面を開いた場合は、以下のメッセージが表示されます。内容を確認し、「売掛残高のみ繰越」か「売掛残高とマスタを繰越」を選択して 「実行」ボタンをクリックします。



年次繰越処理では、前年のデータを元に、マスタ情報(得意先マスタ、商品マスタなど) を新たに自動生成します。

2回目以降に「売掛残高とマスタを繰越」で繰越をした場合は、一致するコードを上書きし、一致するコードがない場合は追加されます。

新年度のマスタに追加・変更・削除を行っても、過去のマスタは影響を受けません。

- ・新年度のマスタに得意先や商品を追加しても、過年度には追加されません。
- ・前年まで利用していた得意先や商品の情報を削除しても、過年度からは削除されません。

9.3 ログインユーザを管理する

フリーウェイ販売管理を利用するユーザ情報を管理します。

9.3.1 ユーザの種類

ログインユーザには「管理者」と「利用者」の2タイプがあります。

種類	内容
管理者	すべてのメニューを実行する権限があるユーザです。 フリーウェイ販売管理の利用申請で登録されたユーザが管理者です。 利用者を増やす場合は、管理者がユーザを追加します。
利用者	管理者によって追加されたユーザです。 既定では、管理者向けのメニュー(「ユーザの権限追加」や「年次更新」など)を 利用できません。

補足 追加したユーザを管理者に指定する

管理者が追加したユーザ(利用者)に対して、管理権限を与えることで、「管理者」に 指定することができます。

9.3.2 ログインユーザの情報を変更する

必要に応じて、ユーザ名・メールアドレス・パスワードを変更します。 ログインしているユーザ本人が操作できます。

- 「トップメニュー」>「ログインユーザ管理」>「ログインユーザ情報変更」を クリックします。
- 2. 該当項目を変更し、[更新] ボタンをクリックします。 ※ユーザ ID を変更することはできません。



補足 パスワードを変更する場合

パスワードを変更する場合は、「新パスワード」と「新パスワード確認」に同じ内容を入力します。新しいパスワードは、次回ログイン時から有効です。

9.3.3 ログインユーザを管理する

管理者権限のあるユーザが、利用者情報を追加(または修正・削除)します。

9.3.3.1 ユーザを追加する

利用者の情報(ログイン時に必要となる ID など)を追加します。

- 「トップメニュー」>「ログインユーザ管理」>「ログインユーザ管理」をクリックします。
- 2. 「ログインユーザ管理」画面が表示されます。[新規] ボタンをクリックします。



3. 各項目を入力し、[登録] ボタンをクリックします。



4. 登録後、自動でログインユーザ管理画面に戻ります。

(一覧に登録したユーザが追加表示されます)



注意

契約 ID 到達のメッセージが表示された!

無料版のユーザ登録は、最大3人までです。4人以上の登録はできません。



9.3.3.2 ユーザを更新・削除する

- ユーザ情報を更新・削除します。
- ユーザ情報を更新する
- 「ログインユーザ管理」画面で、更新したいユーザの [詳細] ボタンを クリックします。



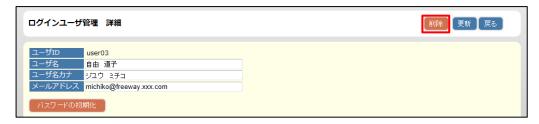
- 2. 該当項目を修正し、[更新] ボタンをクリックします。
 - ※ユーザ ID を変更することはできません。



補足 パスワードを初期化する

[パスワードの初期化] ボタンをクリックすると、システムに登録されたメールアドレス宛てに、パスワード情報が届きます。(メール件名:パスワード再発行のお知らせ)

- ユーザ情報を削除する
- 「ログインユーザ管理」画面で、削除したいユーザの [詳細] ボタンをクリック します。
- 2. [削除] ボタンをクリックします。



3. 確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



4. 削除後、自動でログインユーザ管理画面に戻ります。(一覧からユーザが削除されます)

9.3.4 ログインユーザの権限を管理する

管理者権限のあるユーザが、権限の付与(または解除)をします。

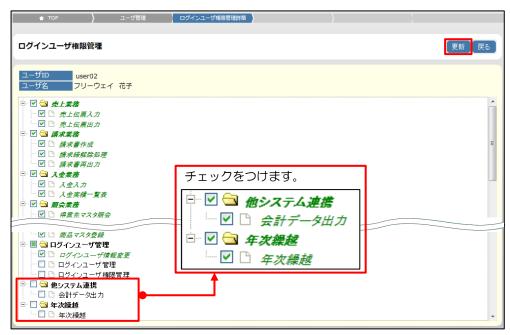
- 1. 「トップメニュー」>「ログインユーザ管理」>「ログインユーザ権限管理」を クリックします。
- 2. 権限を変更したいユーザ ID の [詳細] ボタンをクリックします。



補足 権限管理一覧の見かた

ユーザ ID ごとに、利用可能な機能(カテゴリー)を記号で表しています。

- ●・・・・カテゴリー内のすべての機能が利用できます。
- ○・・・・一部の機能のみ利用できます。利用できない機能のボタンは非表示です。
- (空欄)・・・このカテゴリーの機能は利用できません。 トップメニューのボタンは非表示です。
- 3. 権限を付与したい項目のチェックボックスにチェックをつけて、[更新] ボタンを クリックします。



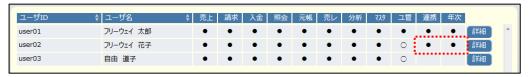
補足 ワンポイント

チェックをつける際の、アイコン(🔂 または 🗋) の使い分けは以下のとおりです。

- ・・・カテゴリー内のすべての機能を許可する場合にチェックをつけます。
 - (例)「マスタメンテナンス」にチェックをつけると、配下にある機能 (「基本情報登録」から「商品マスタ登録」)にチェックがつきます。
- ・・・機能ごとに個別に制限したい場合にチェックをつけます。(または、外します)

4. 登録後、自動でログインユーザ権限管理画面に戻ります。

(一覧に登録した権限が表示されます。)



補足 ワンポイント

権限を付与されたユーザは、トップメニューに戻ると、最新の状態に更新されます。 (ログアウトをしなおす必要はありません)

フリーウェイ販売管理 操作マニュアル

発行所 株式会社フリーウェイジャパン 東京都中央区日本橋富沢町 12-8 Biz-ark 日本橋 6F

- ①本書・本製品の一部または全部を無断で複製することを固く禁じます。
- ②本書の内容は将来、改善の為予告なしに変更することがあります。
- ③万全を期しましたがご不審な点がありましたらご連絡ください。
- ④製品および社名は各社の商標または登録商標です。
- ⑤良いソフトを開発するためにも、皆様のご協力をお願いします。